

# 岐阜の畜産



2018



平成31年3月

岐 阜 県

## 表紙写真の説明

### 上段左: 第32回岐阜県農業フェスティバル

〈平成30年10月27日(土)から28(日)、岐阜市〉

地域特産物や加工食品の消費拡大等を通じて、岐阜県農業の一層の活性化を図るため、県下最大級の「食」と「農」のイベント第32回岐阜県農業フェスティバルが開催されました。

### 上段右: 第2回「和牛甲子園」における飛騨高山高校の「最優秀賞」受賞

〈平成31年1月17日(木)から18日(金)、東京都〉

全国で和牛肥育分野を学ぶ農業高校生に情報交換・交流の場を提供し、肥育技術と生産意欲の向上を図り、国内の後継者・担い手の育成を行うことを目的として開催された第2回「和牛甲子園」に岐阜県から3校(県立飛騨高山高校、県立加茂農林高校、県立大垣養老高校)が出場し、「総合部門」で飛騨高山高校が最優秀賞を受賞し、第1回大会に続き連覇達成となりました。

### 下段: 飛騨牛繁殖研修センターの整備(美濃加茂市)

〈平成31年3月28日(木)、美濃加茂市〉

飛騨牛の生産基盤の強化及び担い手の育成確保を目的として、全農・岐阜大学と県が連携し飛騨牛繁殖研修センターを整備し、平成31年3月28日(木)に全農岐阜県本部長や岐阜大学長、知事らが出席し完成披露式が行われました。

# 目 次

## I 畜産の概況

1	全国的にみた岐阜県の畜産の地位	1
2	農業産出額に占める畜産産出額割合	2
3	農業産出額と畜種別産出額	3
4	岐阜県の畜産物ブランド	
	飛騨牛	4
	まるっとうまい清流の国岐阜県産ポーク	5
	奥美濃古地鶏	6
	美濃飛騨はちみつ	7
5	飼料	
	(1) 飼料作物栽培面積	8
	(2) 草地造成面積及び飼料作物の収量	9
	(3) 飼料用稲の生産及び利用状況	
	ア 飼料用米	10
	イ 稲WCS	10
6	岐阜県家畜育成牧場	
	(1) 牧場の概要	11
	(2) 家畜の譲渡頭数等の推移	11
7	畜産生産振興地域指定市町村分布	12
8	家畜衛生	
	(1) 家畜伝染病発生状況	13
	(2) 獣医事	
	ア 獣医師の就業状況	14
	イ 飼育動物診療施設の状況	14
	(3) 動物用医薬品販売業者等数	14
9	環境保全対策	
	(1) 畜産経営に起因する苦情発生件数の推移	15
	(2) 畜種別の糞尿処理状況	15
10	畜産コンサルタント事業	16
11	家畜の改良と増殖	
	(1) ブロック別家畜登録状況	16
	(2) 得点別登録状況	17
	(3) 人工授精頭数の推移	18
	(4) 受精卵移植成績の推移	18
12	競馬	19

## II 畜種別の動向

1	乳用牛	
	(1) 乳用牛の飼養頭数の分布	20
	(2) 乳用牛の飼養戸数と頭数	21
	(3) 生乳の生産と処理量	21
	(4) 全国の飲用牛乳の生産	22
	(5) 飲用牛乳の生産	22
	(6) 生乳と飲用牛乳の流通	23
	(7) 生乳の学校給食用供給量の推移	24
	(8) 県内の学校給食用牛乳供給乳業工場	24

2	肉用牛	
	(1) 肉用牛の飼養頭数の分布	25
	(2) 肉用牛の飼養戸数と頭数	26
	(3) 肉用牛の種別飼養頭数	26
	(4) 肉用牛のと畜頭数と取引価格	27
	(5) 県内の子牛市場	28
	(6) 肉用子牛価格	28
3	豚	
	(1) 豚の飼養頭数の分布	29
	(2) 豚の飼養戸数と頭数	30
	(3) 豚のと畜頭数と取引価格	30
4	採卵鶏・ブロイラー	
	(1) 採卵鶏の飼養羽数の分布	31
	(2) 採卵鶏の飼養戸数と羽数	32
	(3) 鶏卵の生産量	32
	(4) ひな出荷羽数	33
	(5) ブロイラーの飼養羽数の分布	34
	(6) ブロイラーの出荷羽数	35
5	養蜂	36
6	めん羊・馬	
	(1) めん羊の飼養戸数と頭数	37
	(2) 馬の飼養戸数と頭数	37
	公共牧場の概要	38
	県畜産関係機関一覧	39

統計表	別冊
-----	----

# I 畜産の概況

## 1 全国的にみた岐阜県の畜産の地位(平成30年2月1日現在)

畜種	順位			
	飼養戸数	飼養頭羽数	1戸当たり飼養頭羽数	産出額(平.29年)
乳用牛	27位 (118戸)	28位 (5,950頭)	28位 (50.4頭)	28位 (49億円)
肉用牛	21位 (512戸)	21位 (31,800頭)	24位 (62.1頭)	18位 (107億円)
豚	28位 (40戸)	23位 (106,300頭)	11位 (2,657.5頭)	21位 (87億円)
採卵鶏	8位 (74戸)	15位 (4,005千羽)	22位 (54.1千羽)	13位 (160億円)
ブロイラー	24位 (17戸)	23位 (924千羽)	15位 (54.4千羽)	24位 (24億円)
みつばち (1月1日現在)	(403戸)	(7,120群)		

注1:採卵鶏は、成鶏めすの飼養羽数が1,000羽以上の飼養者(ひなのみ及び種鶏のみで、それぞれ1,000羽以上の飼養者を含む。)が調査対象であり、表中の採卵鶏の飼養戸数は種鶏のみ飼養者を除く数値。飼養羽数は種鶏を除く成鶏めす羽数。

注2:採卵鶏の産出額は鶏卵のみ。

注3:ブロイラーの飼養戸数は、ブロイラーの出荷羽数年間3,000羽以上の飼養者が調査対象である。飼養羽数は、年間出荷羽数3,000羽以上の飼養者の飼養羽数の合計である。

資料:農林水産省統計部「畜産統計調査」、「生産農業所得統計」

みつばちは、県畜産課とりまとめの養蜂振興法に基づく「飼育届」届出結果

乳用牛、肉用牛、豚及びブロイラーの飼養戸数・頭数、産出額はいずれも全国の中位に位置しており、1戸当たり飼養頭数は乳用牛及び肉用牛は全国の中位、豚及びブロイラーは上位に位置する。

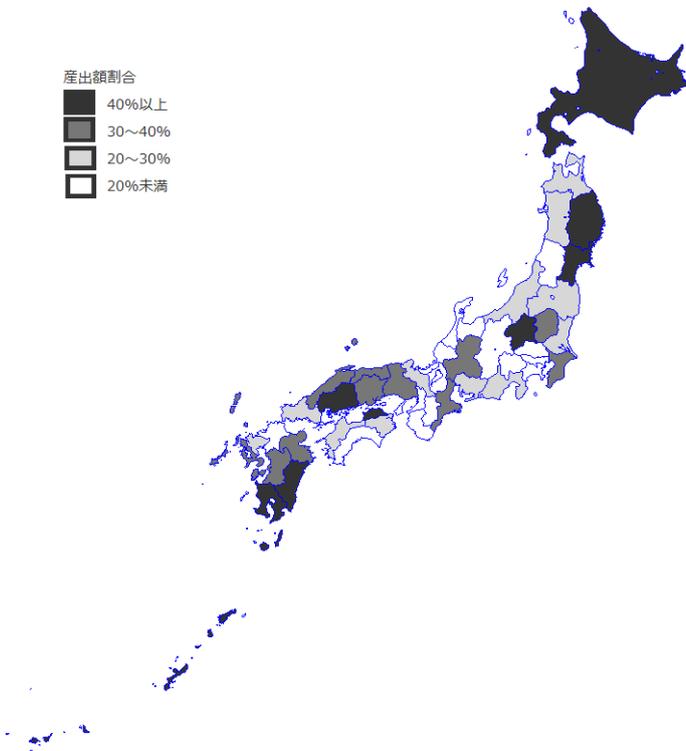
採卵鶏の飼養戸数・羽数、産出額は全国の上位に位置するが、1戸当たり飼養羽数は中位に位置している。

## 2 農業産出額に占める畜産産出額割合(平.29)

畜産産出額の全国順位

都道府県	順位	畜産 産出額	構成比	産出額 割合
		億円	%	%
北海道	1	7 279	21.9	57.0
青森	10	915	2.8	29.5
岩手	4	1 670	5.0	62.0
宮城	12	777	2.3	40.9
秋田	26	366	1.1	20.4
山形	25	367	1.1	15.0
福島	18	495	1.5	23.9
茨城	6	1 336	4.0	26.9
栃木	9	1 055	3.2	37.3
群馬	8	1 123	3.4	44.0
埼玉	30	294	0.9	14.8
千葉	5	1 432	4.3	30.5
東京	47	21	0.1	7.7
神奈川	36	163	0.5	19.4
新潟	16	517	1.6	20.8
富山	40	93	0.3	14.1
石川	39	95	0.3	17.3
福井	45	47	0.1	9.9
山梨	42	81	0.2	8.6
長野	29	300	0.9	12.1
<b>岐阜</b>	<b>22</b>	<b>454</b>	<b>1.4</b>	<b>38.7</b>
静岡	19	486	1.5	21.5
愛知	11	893	2.7	27.6
三重	23	446	1.3	39.8
滋賀	38	109	0.3	16.8
京都	37	143	0.4	19.4
大阪	46	23	0.1	6.4
兵庫	13	627	1.9	38.4
奈良	43	61	0.2	14.2
和歌山	44	53	0.2	4.3
鳥取	31	275	0.8	35.9
島根	34	244	0.7	39.8
岡山	14	557	1.7	37.0
広島	17	510	1.5	41.2
山口	35	187	0.6	27.7
徳島	32	268	0.8	25.8
香川	27	345	1.0	41.3
愛媛	33	261	0.8	20.7
高知	41	85	0.3	7.1
福岡	24	392	1.2	17.9
佐賀	28	337	1.0	25.7
長崎	15	554	1.7	33.9
熊本	7	1 147	3.5	33.5
大分	20	457	1.4	35.9
宮崎	3	2 260	6.8	64.1
鹿児島	2	3 162	9.5	63.2
沖縄	20	457	1.4	45.5

注:産出額割合は、農業産出額に占める  
畜産産出額の割合



資料:農林水産省統計部「生産農業所得統計」

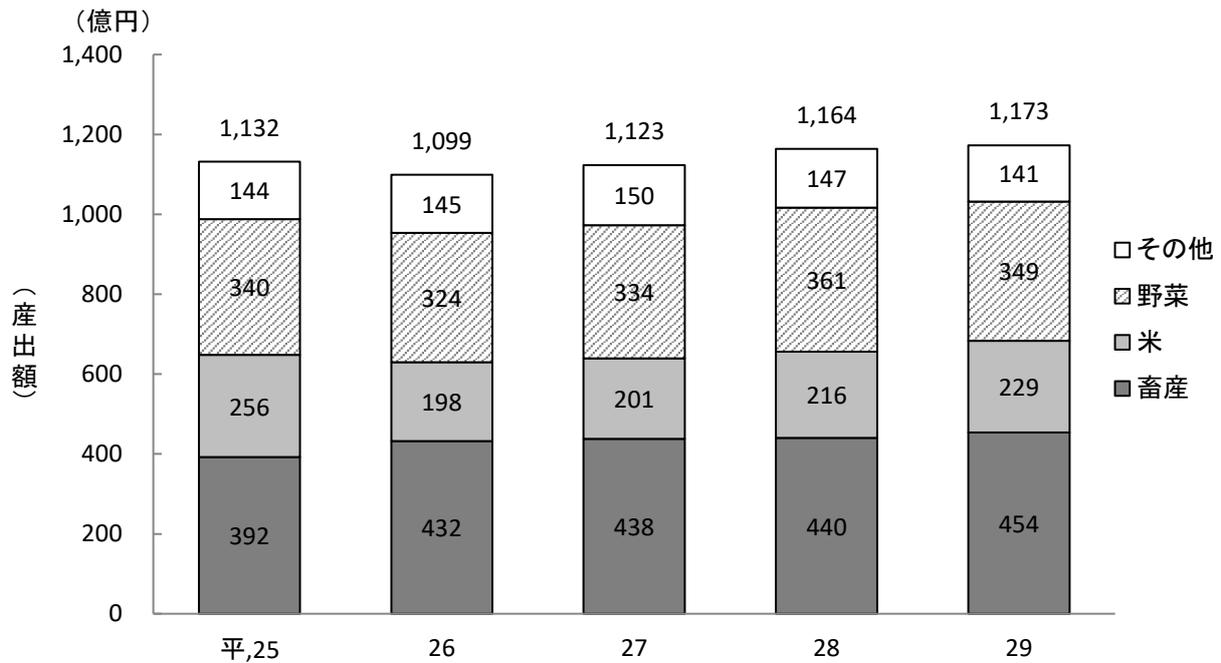
### 岐阜県の畜産産出額割合は38.7%

農業産出額に占める畜産産出額の割合は、鹿児島県63.2%、宮崎県64.2%、岩手県62.0%、となっており、岐阜県は38.7%となっている。

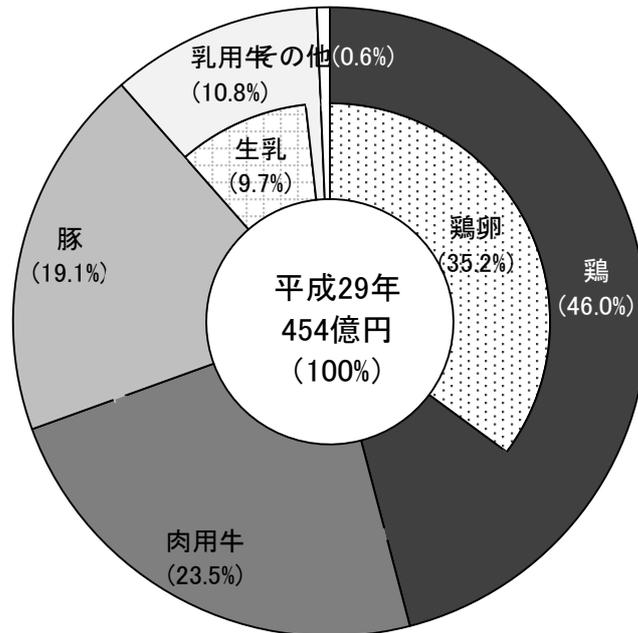
また、畜産産出額を都道府県別にみると、乳用牛を主体とする北海道が第1位で7,279億円(全国シェア21.9%)、次いで鹿児島県の3,162億円(同9.5%)、宮崎県の2,260億円(同6.8%)となっており、岐阜県は22位で454億円(同1.4%)となっている。

### 3 農業産出額と畜種別産出額(平.29)

農業産出額



畜種別算出額



資料:農林水産省統計部「生産農業所得統計」

#### 畜産産出額は前年並み

岐阜県における平成29年の農業産出額は、1,173億円となり、前年に比べて9億円(0.8%)増加した。部門別産出額では、米、野菜、果実、花き、工芸農作物等の耕種部門は717億円で、前年に比べ6億(0.8%)減少し、畜産部門は454億円で前年に比べ14億円(3.2%)増加した。畜種別にみると、肉用牛は107億円で、前年に比べ1億円(0.9%)減少し、乳用牛は49億円で、前年に比べ3億円(5.8%)減少した。豚は87億円で、前年に比べ8億円(10.1%)増加し、鶏は209億円、前年に比べ13億円(6.6%)増加した。

## 4 岐阜県の畜産物ブランド

# 飛驒牛

豊かな自然が育んだ味

「飛驒牛」とは、飼養期間が最も長い場所が岐阜県であり、飛驒牛銘柄推進協議会登録農家制度※にて認定・登録された生産者により14カ月以上肥育された黒毛和種の肉牛のうち、(公社)日本食肉格付協会が実施する牛枝肉格付により肉質等級5等級・4等級・3等級と格付けされたものであることを飛驒牛銘柄推進協議会事務局が確認し、認定したものです。

清らかな水と澄んだ空気、人々の愛情により育てられ、その肉質はきめ細かくやわらかで、とろけるような旨みは牛肉の芸術品と呼ぶにふさわしい逸品です。

### ※登録農家制度

：岐阜県内にて黒毛和種を飼養する生産者を対象に、手続きを経て認定・登録する制度  
(飛驒牛銘柄推進協議会ホームページにて公開)



### 【関連団体】

飛驒牛銘柄推進協議会 [昭和63年1月23日設立]  
(事務局:全農岐阜県本部畜産販売課内)  
<http://www.hidagyu-gifu.com/>

### 【年間認定頭数の推移】

(単位:頭)

年度	H24	H25	H26	H27	H28	H29
認定頭数	11,432頭	11,061頭	11,253頭	10,445頭	9,950頭	9,916頭

### 【登録農家数】

268戸  
(平成30年3月31日現在)

### 【指定店数】

販売店 188店  
料理店 197店  
海外推奨店 40店  
(平成30年3月31日現在)



(提供:飛驒牛銘柄推進協議会)

<参考:平成29年3月31日時点>

### 【登録農家数】

267戸

### 【指定店数】

販売店 189店  
料理店 196店  
海外推奨店 29店

# まるっとうんまい清流の国岐阜県産ポーク

県内の養豚農家がそれぞれのこだわりをもって生産した銘柄豚肉の数々

岐阜県内には、「飛騨けんどん・美濃けんどん」をはじめ、各々の養豚農家が飼料や飼育方法にこだわりを持って生産した数々の銘柄豚肉があります。

岐阜県養豚協会では、県内においしい銘柄豚肉がたくさんあることを知ってもらい、これらの県産銘柄豚肉を一体的にPRしていくため、『まるっとうんまい清流の国岐阜県産ポーク』という統一名称、キャッチコピー、ロゴマークを決め、岐阜県産豚肉の一層の支持、販路の拡大を図ることとしています。



## 【関連団体】

岐阜県養豚協会[昭和51年9月8日設立]  
(会員数32名 平成29年度)

## 【参加銘柄:順不同】(平成30年4月1日現在)

飛騨けんどん・美濃けんどん  
文殊にゆうとん  
寒天そだち三浦豚  
山金豚

飛騨旨豚  
納豆喰豚  
ボーンポークぎふ  
あんしん豚

郡上クラシックポーク  
美濃ヘルシーポーク  
はちや豚



# 奥美濃古地鶏

神代の味の再現

「奥美濃古地鶏」は、鶏の原種の特徴を最も色濃く残すといわれ天然記念物に指定されている「岐阜地鶏」を基に、岐阜県が開発した地鶏で肉用鶏と卵用鶏があります。

肉用鶏は、奥美濃古地鶏普及推進協議会が生産者を認定し、「地鶏肉の日本農林規格」に準じた生産を行っています。ゆったりと十分に運動できる環境において、80日間以上かけて飼育しているため、肉は赤みを帯び、歯ごたえよく、あふれる旨みの特徴です。

また、卵用鶏の卵は一般の鶏卵に比べて小ぶりですが、卵黄の比率が高く、濃厚でコクがあります。



※「地鶏肉の日本農林規格」

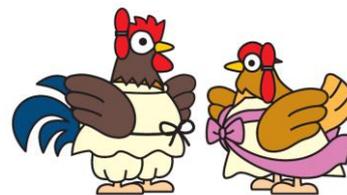
：「農林物資の規格化及び品質表示の適正化に関する法律（JAS法）」に基づき、国が定めた「地鶏肉」の規格

## 【関連団体】

奥美濃古地鶏普及推進協議会[平成4年7月17日設立]

(事務局:岐阜アグリフーズ株式会社内)

<http://okuminokojidori.com/>



奥美濃古地鶏公式キャラクター

(提供:奥美濃古地鶏普及推進協議会)

## 【肉用鶏の年間え付け羽数の推移】

年度	H25	H26	H27	H28	H29
え付け羽数	160.3千羽	146.8千羽	160.0千羽	155.5千羽	132.2千羽
飼養戸数	5戸	5戸	5戸	5戸	5戸

## 【指定店数】

販売店 35店

料理店 30店

(平成30年4月1日現在)

<参考:平成29年3月31日時点>

販売店 38店

料理店 34店



肉用 奥美濃古地鶏

(提供:奥美濃古地鶏普及推進協議会)



卵用 奥美濃古地鶏

(提供:県畜産研究所)

# 美濃飛驒はちみつ

近代養蜂発祥の地

現在の西洋式の養蜂は明治の中期に日本に導入され、岐阜県の養蜂家が中心となり、養蜂器具の作成や技術の普及が行われました。明治43年には第1回全国養蜂家大会が岐阜県で開催されました。このため、岐阜県は「近代養蜂発祥の地」と言われています。

岐阜県では標高差のある自然条件を生かし、岐阜・西濃地域のれんげ蜜や中濃・東濃・飛驒地域のソヨゴ蜜、とち蜜、アカシア蜜など様々な種類のはちみつが生産されています。

近年の養蜂業は、はちみつ、蜜ろう、ローヤルゼリーの生産だけでなく、野菜や果樹の花粉交配にも蜜蜂が利用されていることから、農産物の生産に大きく寄与しています。



岐阜県養蜂組合連合会は平成18年度から岐阜県内養蜂業界の発展を図ることを目的として、岐阜県内で生産・販売する岐阜県産天然はちみつを対象に県内での統一した銘柄づくりに着手。その第一歩として、右図にあるような「美濃飛驒はちみつ」の統一シール(右上)の貼付を行い、農業フェスティバル等でアピールを行っています。

## 【関連団体】

岐阜県養蜂組合連合会[昭和27年3月設立]  
(県内11地域組合 会員数95名 平成29年度)

## 【県内のはちみつ生産量の推移】

年次	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29
はちみつ生産量	64.9t	74.2t	144.8t	120.9t	121.9t	118.2t	104.3t

(岐阜県養蜂組合連合会調べ)



いちごの受粉を行う蜜蜂

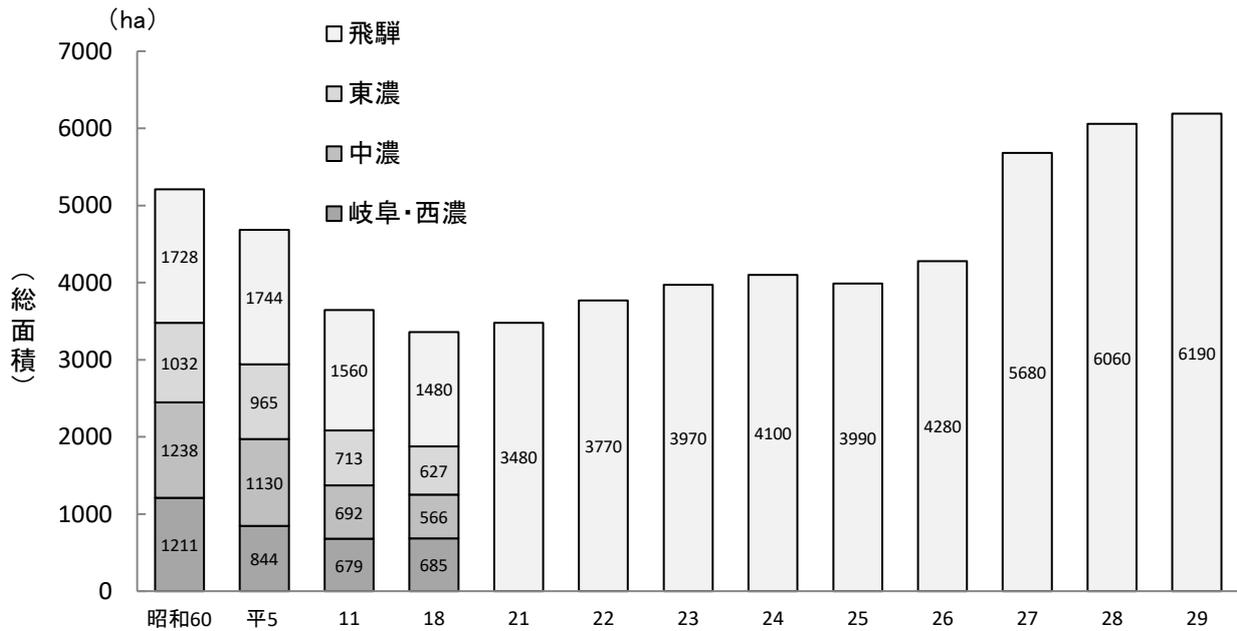


県内産のいろいろなはちみつ

# 5 飼料

## (1) 飼料作物栽培面積

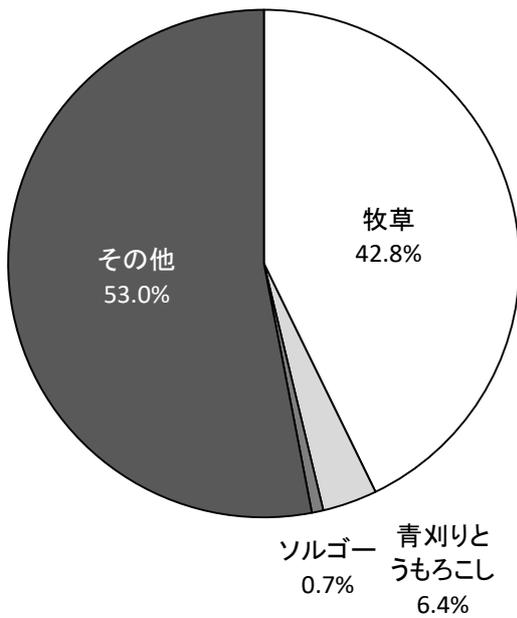
飼料作物栽培面積の推移



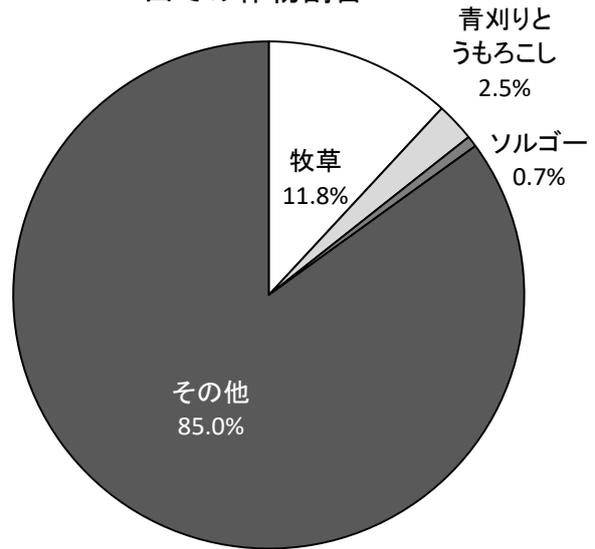
注：平成19年度より地域別の公表がされなくなった。

資料：農林水産省統計部「耕地及び作付面積統計」

飼料作物栽培面積の割合

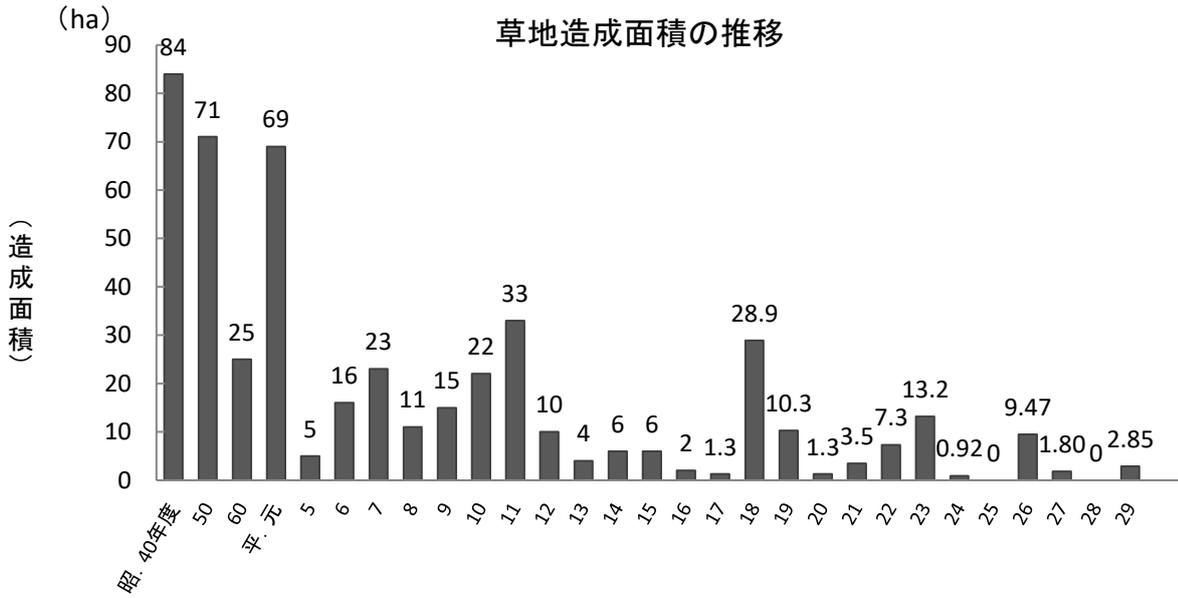


田での作物割合

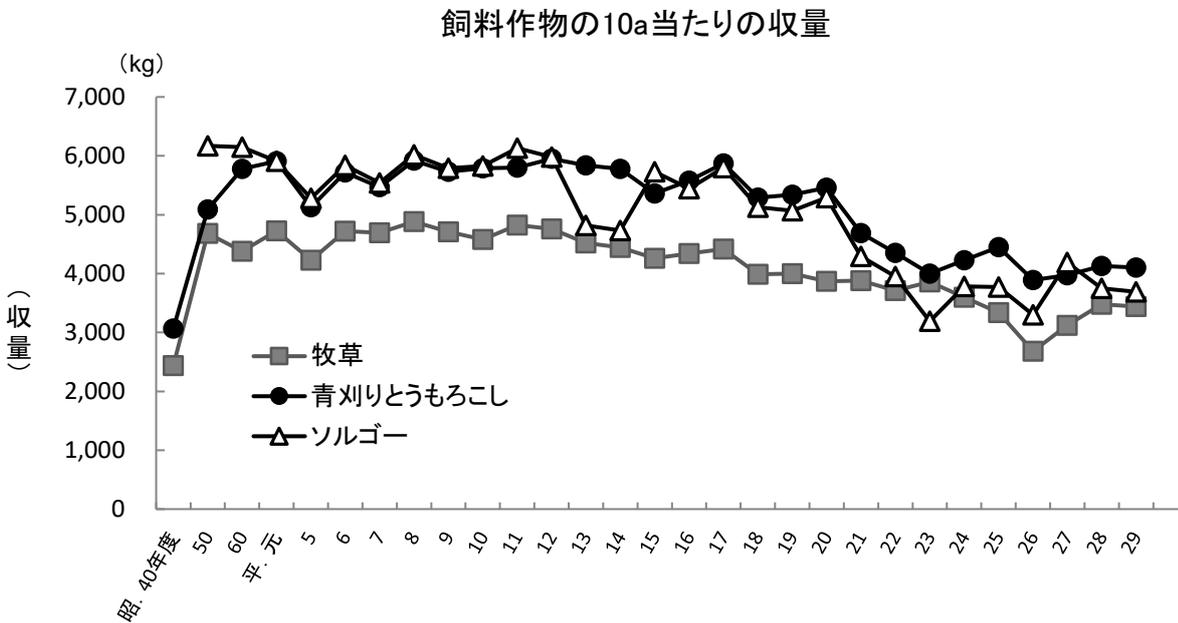


資料：農林水産省統計部「耕地及び面積統計」

(2) 草地造成面積及び飼料作物の収量



資料: 県畜産課

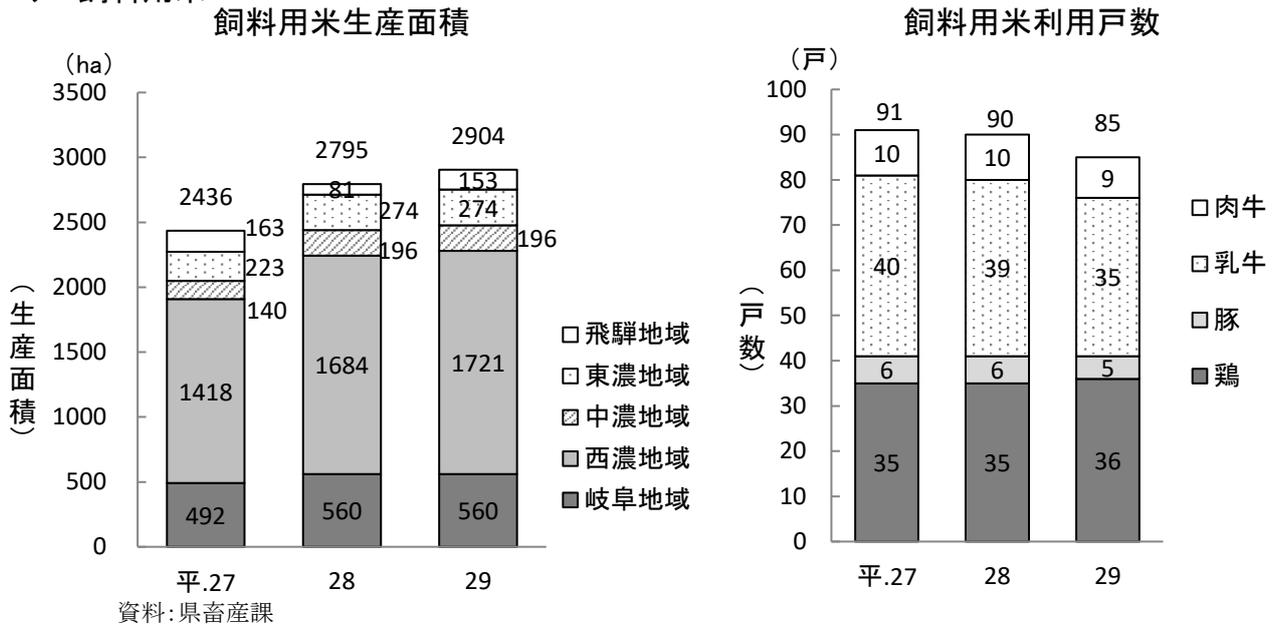


資料: 農林水産省統計部「作物統計調査」

草地造成面積は長期的には減少傾向、飼料作物の単収は微減

草地造成面積は、地方公共団体による牧場新設等大規模造成事業がほぼ完了したため、平成12年度以降は、造成面積が少ない状況が続いている。平成18年度には、飛騨・郡上地区で草地造成が行われたため一旦面積が急増したが、その後の草地造成面積は低調に推移しており、平成29年度は2.85haであった。また、平成29年度の10a当たりの収量は、牧草は3,440kgで前年に比べ1.1%減少、青刈りとうもろこしは4,100kgで0.7%減少、ソルゴーは3,690kgで1.6%減少であった。

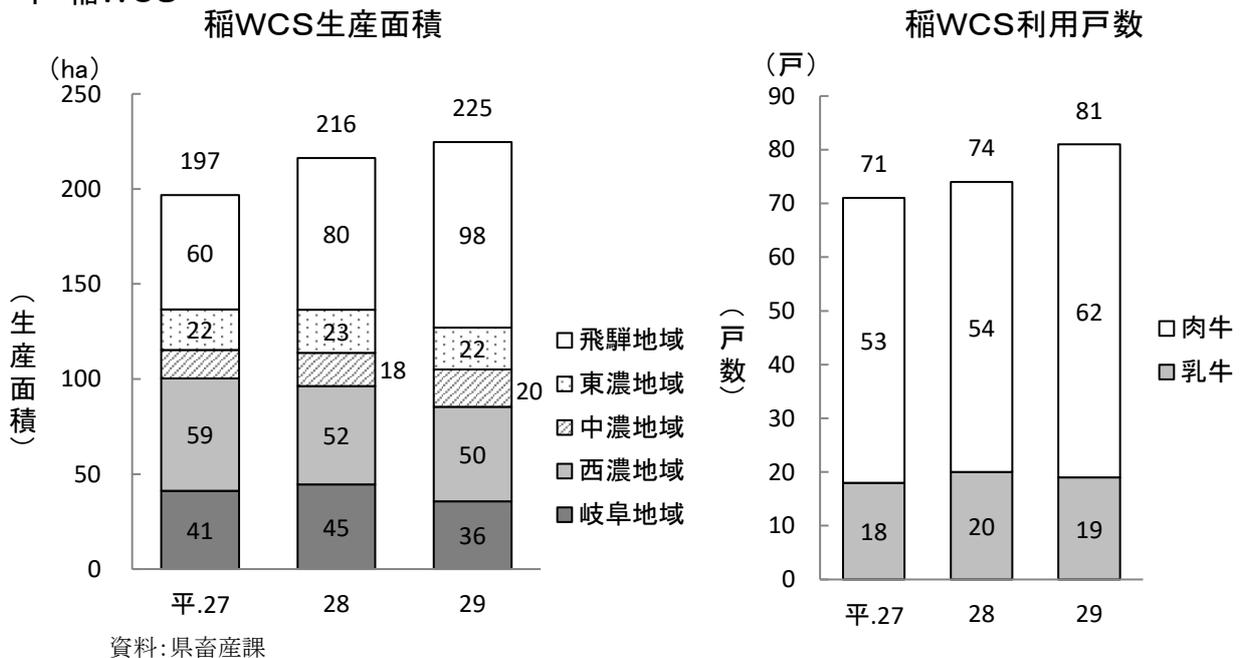
(3) 飼料用稲の生産及び利用状況  
ア 飼料用米



飼料用米の生産は微増、利用農家数は減少

平成19年に始まった飼料用米生産は西濃地域を中心に作付が拡大してきており、平成29年度は前年と比べ3.9%増加し、2,904haであった。飼料用米を利用する畜産農家戸数は増加傾向であったが、平成28年度でほぼ横ばいとなり、平成29年度は利用農家数が5戸減となり、85戸の畜産農家で利用されている。

イ 稲WCS



稲WCSの生産、利用ともに増加

稲発酵粗飼料（稲WCS）の生産は岐阜・西濃地域を中心に作付が拡大してきたが、平成29年度も飛騨地域を中心に増加し、225haの作付であった。稲WCSを利用する畜産農家戸数も利用が増加し、平成29年度は81戸で利用されている。

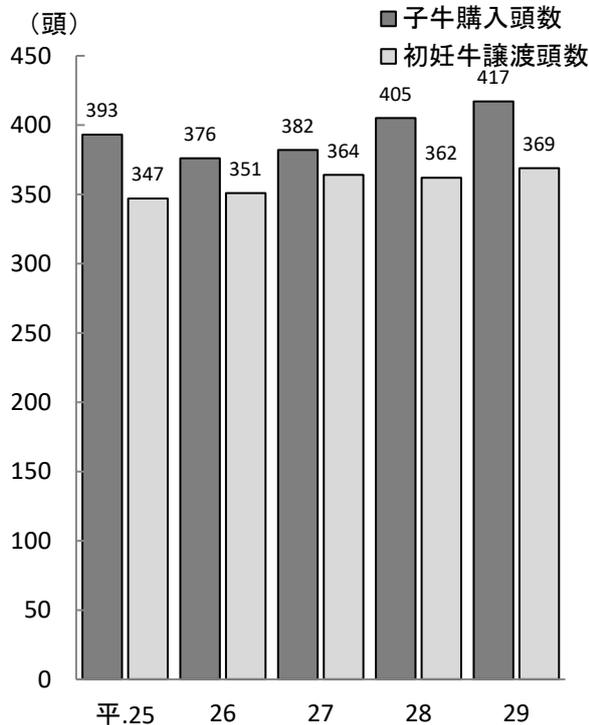
## 6 岐阜県家畜育成牧場

### (1) 牧場の概要

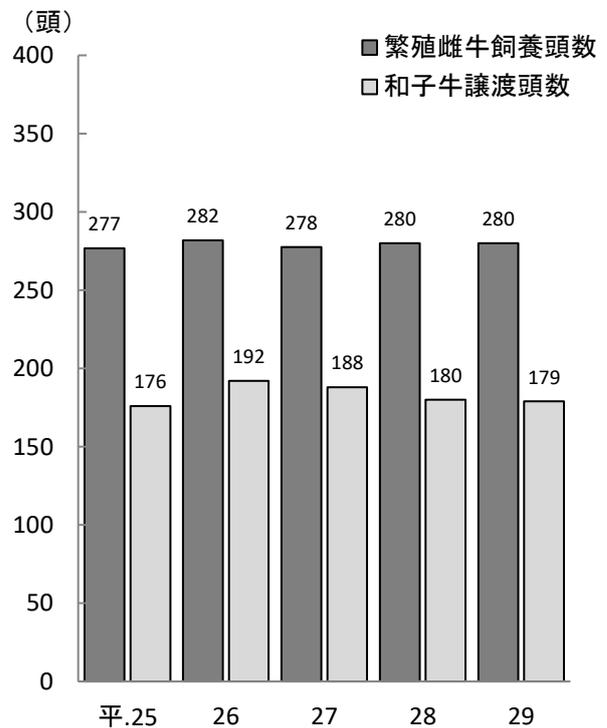
	東濃牧場	飛騨牧場
事業の内容	優良乳用初妊牛の育成譲渡	和牛繁殖改良基礎雌牛の生産譲渡
牧場の範囲	恵那市 (旧恵那市) (旧恵那郡岩村町)	高山市 (旧大野郡清見村) (旧大野郡荘川村)
総面積	241.7ha	368.3ha
標高	630～700m	1,100～1,400m
採草放牧地面積 (草地面積)	175ha	281ha
うち採草地	53ha	44ha
うち放牧地	122ha	237ha

### (2) 家畜の譲渡頭数等の推移

年度別子牛購入・初妊牛譲渡頭数  
(東濃牧場)



年度別肉用牛繁殖雌牛飼養頭数・和子牛譲渡頭数  
(飛騨牧場)



資料:(一社)岐阜県農畜産公社

岐阜県は、大家畜資源の確保及び畜産経営の合理化を図るため、東濃及び飛騨地区に国の共同利用模範牧場設置事業により家畜育成牧場を建設した。また、牧草地を利用して優秀な子牛を育成し、これを農家に供給するため、昭和48年4月に社団法人岐阜県畜産開発公社を設立(平成11年4月1日に財団法人岐阜県農業公社と合併し、社団法人岐阜県農畜産公社となる。また、平成25年4月1日には、一般社団法人に移行。)した。

年度別実績は、図のとおりである。



## 8 家畜衛生

### (1) 家畜伝染病発生状況

対象家畜 病名 年次	牛				馬	豚		鶏		みつばち
	アナプラズマ病	ブルセラ病	結核病	ヨーネ病	馬伝染性貧血	豚コレラ	流行性脳炎	ニューカッスル病	家きんサルモネラ感染症	腐蛆病
	頭	頭	頭	頭	頭	頭	頭	羽	羽	群
昭和31～35		2	58		59	277			257,546	869
36～40		12	48		30	732			7,164	570
41～45			11		29			23,591	954	354
46～50		2	5		5				119	817
51～55	1	2	2		4					520
56～60			3			414			146	495
61～63			4							66
平成元～5		1	1							137
6～9		1	1							210
10										
11				1						1
12										3
13				1						
14				3						7
15				2						1
16										10
17										3
18				3						13
19				3			1			18
20										1
21				4						
22										9
23										1
24										
25				1						
26				1						3
27										6
28										3
29										2

資料：県畜産課

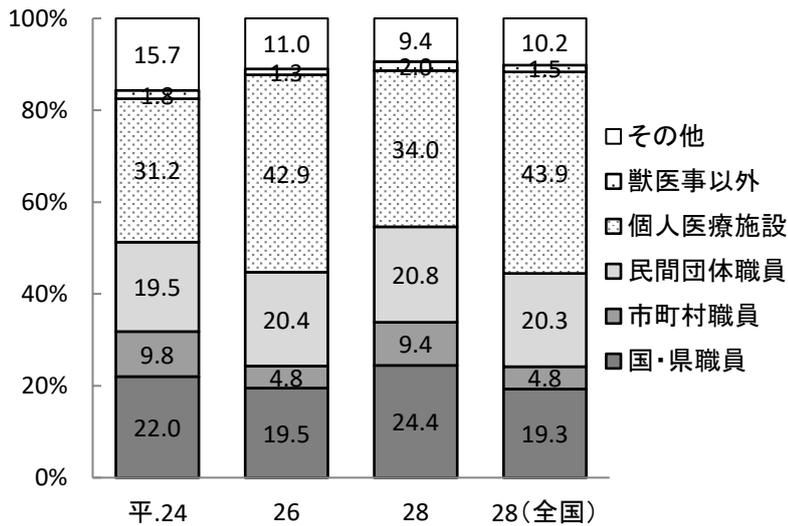
平成23年度には家畜伝染病予防法が改正され、全国的に発生予防対策やまん延防止対策の強化が図られている。また、口蹄疫、牛海綿状脳症、豚コレラ及び高病原性鳥インフルエンザなどの重要疾病について、サーベイランスの強化を図り発生防止に努めている。平成29年次は、国内では牛ヨーネ病(23道県817頭)、山羊ヨーネ(1県、1頭)、腐蛆病(13道府県74群)、高病原性鳥インフルエンザ(1県、7羽)、山羊の伝達性海綿状脳症(1県1頭)の発生があり、県内では腐蛆病の発生があった。

平成28年11月に国内で2年ぶりに高病原性鳥インフルエンザが発生し(平成28年次発生数：鶏4道県5農場、あひる1県2農場)、岐阜県においても平成29年1月14日、山県市の採卵鶏農場で高病原性鳥インフルエンザが発生した。県職員、自衛隊、警察等のべ4,660人が防疫措置作業に従事した。発生後72時間以内に81,459羽の殺処分及び埋却作業を終了し、2月1日に、搬出制限区域(半径10km)の解除、2月8日に移動制限区域(半径3km)の解除を行った。

引き続き検査・指導を強化し、家畜伝染病の発生防止及び本県への侵入防止を図る。

## (2) 獣医事

### ア 獣医師の就業状況



資料: 農林水産省「獣医師の届出状況(獣医師数)」

### イ 飼育動物診療施設の状況 (平成30年3月末現在)

地域	診療施設数	
	計	うち産業動物
中央	138	22
中濃	42	15
東濃	43	13
飛騨	33	21
計	256	71

資料: 県畜産課

県内の獣医師の届出数(平成28年12月)は総勢659名で、うち農林畜産関係に従事する獣医師は155名(23.5%)であった。前回届出数(平成24年12月)に比べ、1名(0.3%)増加した。

全国の獣医師の届出数(平成28年12月)は総勢38,985名で、うち農林畜産関係に従事する獣医師は8,162名(20.9%)であり、県内の農林畜産関係に従事する獣医師の比率は全国と比べるとやや高い。

## (3) 動物用医薬品販売業者等数

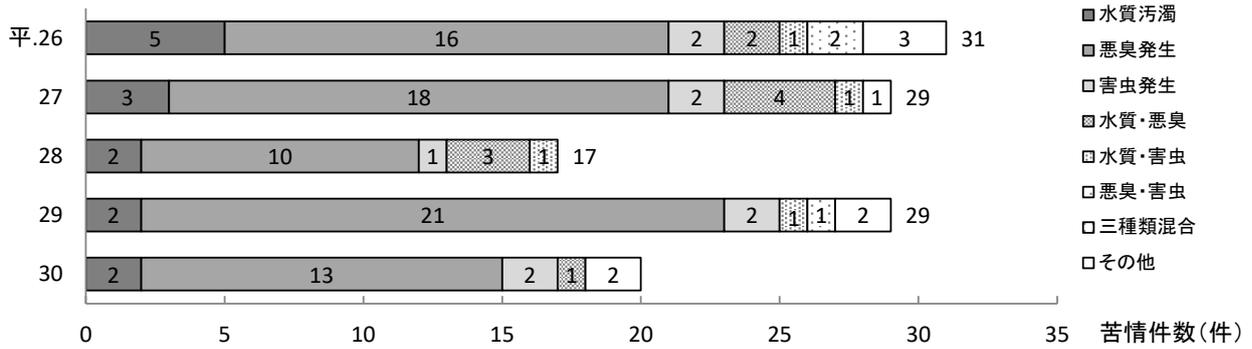
(平成30年3月末現在)

区分	家保	中央	中濃	東濃	飛騨	計
店舗販売業		22	1	4	3	30
卸売販売業		17	2	3	3	25
特例店舗販売業		69	34	30	28	161
計		108	37	37	34	216
管理医療機器販売・貸与業		42	1	4	6	53
高度管理医療機器販売・販売業		9	1	1	2	13
計		51	2	5	8	66
動物用医薬品製造業		2	2	0	4	8
動物用医療機器製造業		1	5	1	0	7
動物用医薬品製造販売業		0	0	0	0	0
動物用医療機器製造販売業		1	4	0	0	5
計		4	11	1	4	20
動物用医療機器修理業		10	0	0	0	10
計		10	0	0	0	10
総計		173	50	43	46	312

資料: 県畜産課

## 9 環境保全対策

### (1) 畜産経営に起因する苦情発生件数の推移



苦情の畜種別発生件数(平成30年度※注1)

	水質汚濁	悪臭発生	害虫発生	水質・悪臭	水質・害虫	悪臭・害虫	三種類混合	その他	合計(割合)
牛	0	4	0	0	0	0	1	2	7(33.3%)
豚	0	2	0	1	0	0	0	0	3(14.3%)
鶏	2	7	2	0	0	0	0	0	11(52.4%)
その他※注2	0	0	0	0	0	0	0	0	0(.0%)
合計(割合)	2(9.5%)	13(61.9%)	2(9.5%)	1(4.8%)	0(.0%)	0(.0%)	1(4.8%)	2(9.5%)	21(100.0%)

資料: 県畜産課

注1: 調査期間はH29.7.1～H30.6.30

注2: その他は、イノシシ、みつばちなど

### 苦情発生件数は前年度と比較し減少

平成30年度における畜産経営に起因する苦情発生件数は、前年度より減少し21件であった。その畜種別内訳は上記表のとおりであり、牛、豚は前年度からそれぞれ2件、鶏も1件減少した。苦情の種類では、悪臭発生が最も多く、悪臭と害虫など複合的な内容の苦情も散見された。なお、これらの苦情に対しては、処理衛生技術指導等の対策を行った。

### (2) 畜種別の糞尿処理状況

総排せつ物量(平成29年度) 876千t

#### ア 固形物

畜種	処理量(千t/年)	処理方法別 内訳(千t/年) ( )内は割合			
		発酵	乾燥	焼却	その他
牛	391	381 (97%)	4 (1%)	0 (%)	6 (2%)
豚	107	107 (100%)	0 (%)	0 (%)	0 (%)
鶏	254	220 (87%)	11 (4%)	20 (8%)	2 (1%)
合計	752	708 (94%)	14 (2%)	20 (3%)	9 (1%)

#### イ 液状物

畜種	処理量(千t/年)	処理方法別 内訳(千t/年) ( )内は割合		
		液肥	浄化	その他
牛	8	3 (35%)	2 (25%)	3 (40%)
豚	116	5 (4%)	108 (93%)	4 (3%)
合計	124	8 (6%)	110 (88%)	7 (6%)

資料: 県畜産課

注: なお、四捨五入表示をしているため、各内訳を積み上げた数値は合計の数値と一致しない場合がある。

### 総排せつ量の86%が固形物

平成29年度における家畜糞尿の処理状況は、総排せつ量876千tの約86%に当たる752千tが固形物として処理され、残り約14%に当たる124千tが液状物として処理された。

固形物では、各畜種とも9割以上が発酵及び乾燥処理されており、計730千tが農地還元による再利用が行われた。液状物は、8千tが液肥として農地還元による再利用が行われ、88%に当たる110千tが浄化処理された。

## 10 畜産コンサルタント事業

診断件数	H27	H28	H29
酪農	9	9	6
肉用牛	8	9	11
養豚	3	3	3
養鶏	4	3	1
計	26	24	21

資料: 県畜産課

平成29年度畜産コンサルタント事業の実施件数は21件である。(平成29年度までの53年間累計件数は2,766件。)

各畜種毎に畜産コンサルタント団からなる診断班によつて的確に経営分析され、具体的な助言指導が実施された。

## 11 家畜の改良と増殖

(1) ブロック別家畜登録状況(平成29年度)

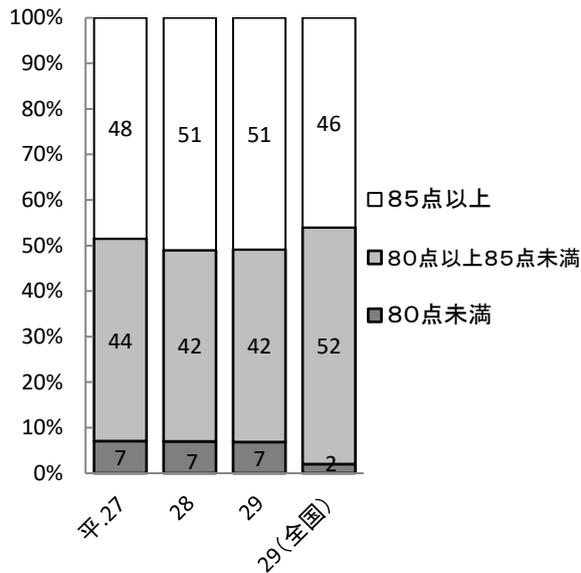
ホルスタイン登録			和牛登録			種豚登録		
取扱団体	登録数	血液型検査等	分室	登録数	遺伝子型検査等	地域	登録数	県外への移動等
岐阜酪農組合	62	420	美濃事業分室	1,852	1,215	岐阜地域		0
羽島市	40					西濃地域		
海津市	0		郡上事業分室	616		中濃地域	98	
美濃酪連	196					東濃地域		
飛騨酪農協	305		飛騨事業分室	4,654		飛騨地域		
飛騨市	0							
個人	11							

資料: (一社)岐阜県畜産協会

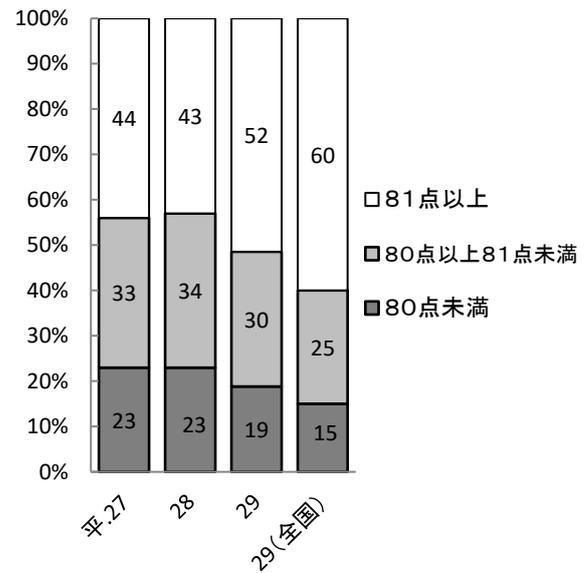
平成29年度家畜登録件数は、ホルスタイン1,034件、和牛8,337件、種豚98件の合計9,469件であった。前年に比べると、ホルスタインが13件の減少、和牛が2,132件の減少、種豚が167件の減少であった。

また、家畜登録の基礎となる血統登録(ホルスタイン)が16.1%の減少、基本・本原登録(和牛)が3.7%の増加であった。

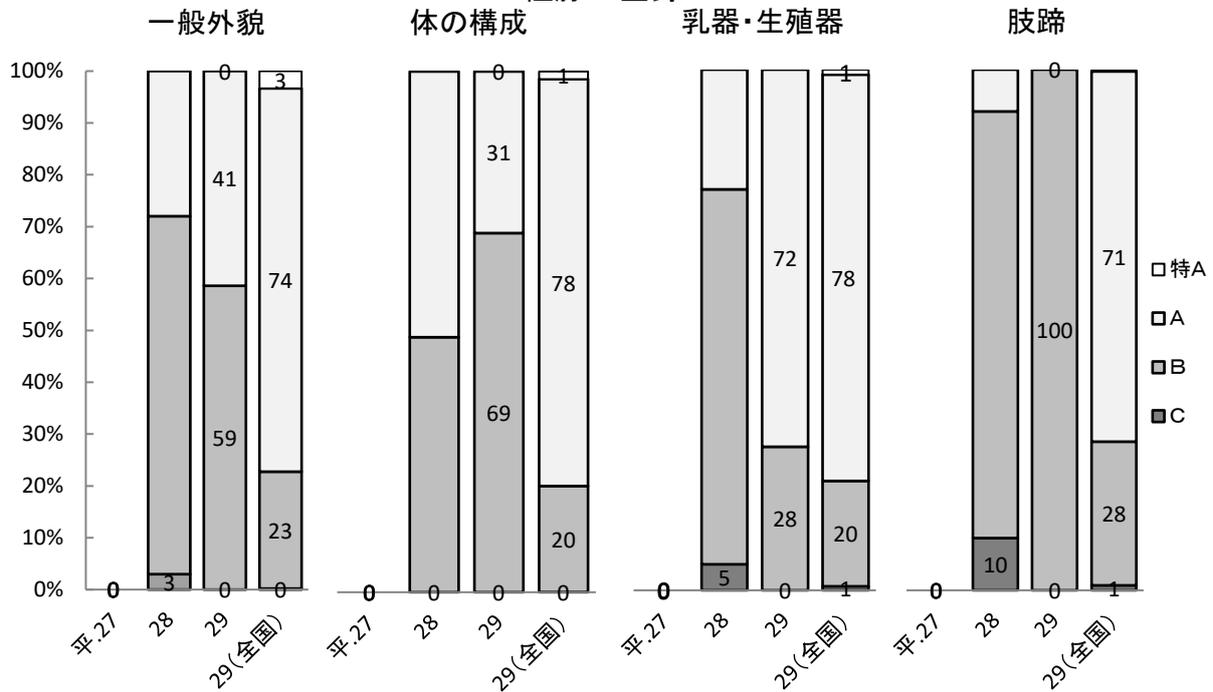
(2) 得点別登録状況  
ホルスタイン牛群審査



和牛基本・本原登録



種豚の登録



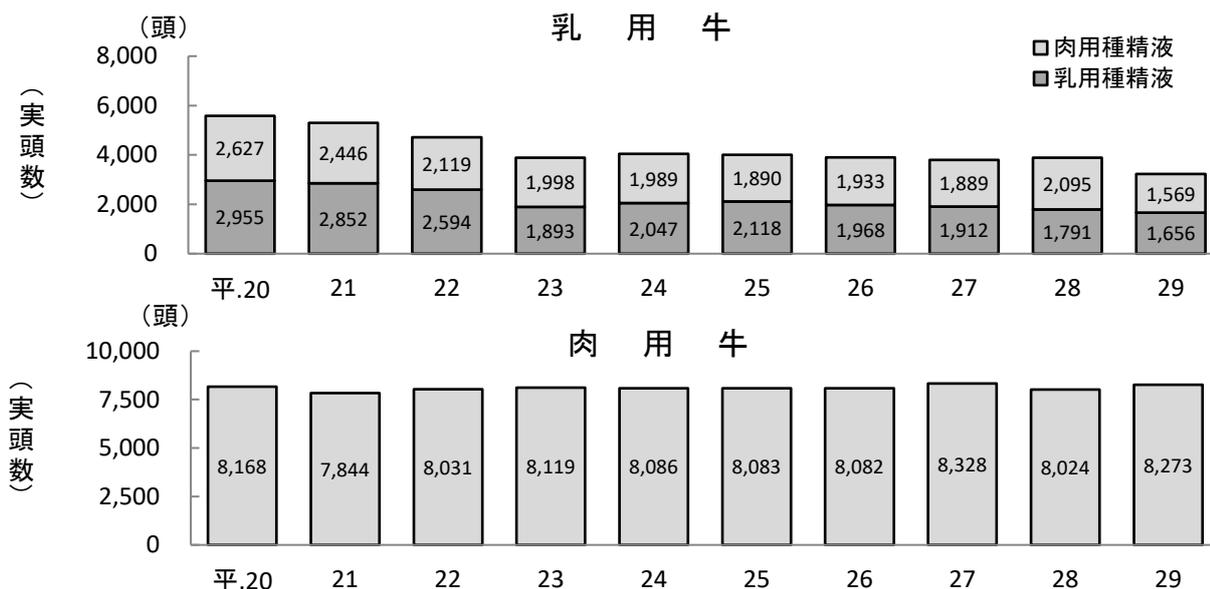
資料: (一社)岐阜県畜産協会

全国平均はそれぞれ、(一社)日本ホルスタイン登録協会、(公社)全国和牛登録協会、(一社)日本養豚協会による

平成29年度の体型得点は、ホルスタインが80点以上93%、和牛の基本・本原では80点以上が81%を占めている。

ホルスタインの審査得点は全国と比較して、80点以上の割合が高く、和牛では81点以上の得点割合が低く、種豚についてはすべての項目についてA以上の割合が低かった。

### (3) 人工授精頭数の推移

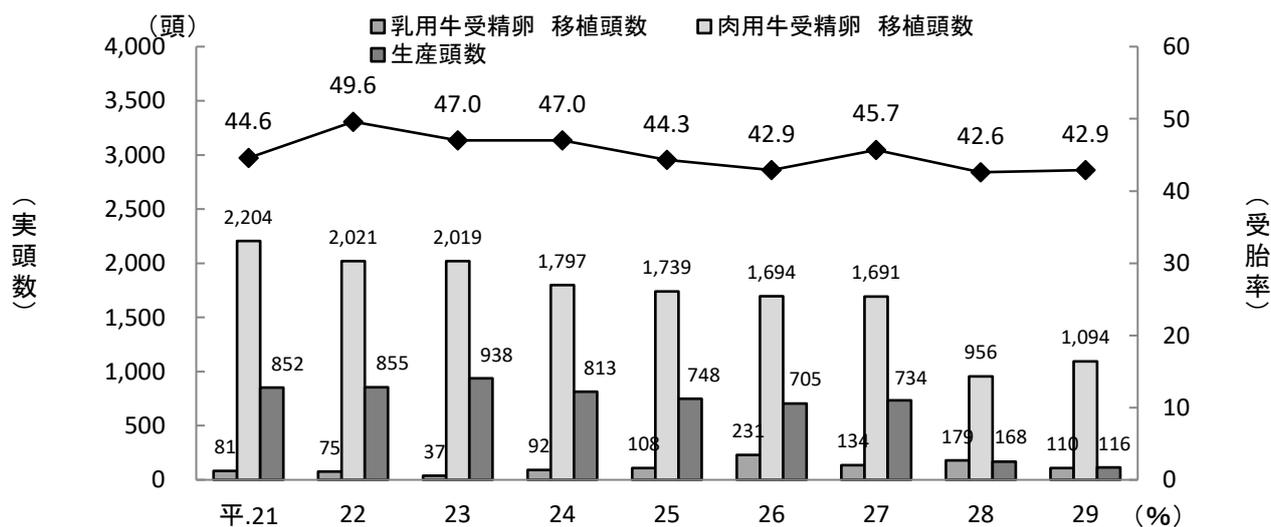


資料: 県畜産課

### 乳用牛、肉用牛ともに横ばい

平成29年の人工授精頭数は、乳用牛では総頭数が3,225頭であり、その内訳は前年に比べ、肉用種精液及び乳用種精液による授精頭数はともに若干減少した。  
肉用牛では、総頭数が8,273頭であり、前年と比較して若干増加した。

### (4) 受精卵移植成績の推移



資料: 県畜産課

### 移植頭数、受胎率はやや増加の一方、生産頭数はやや減少

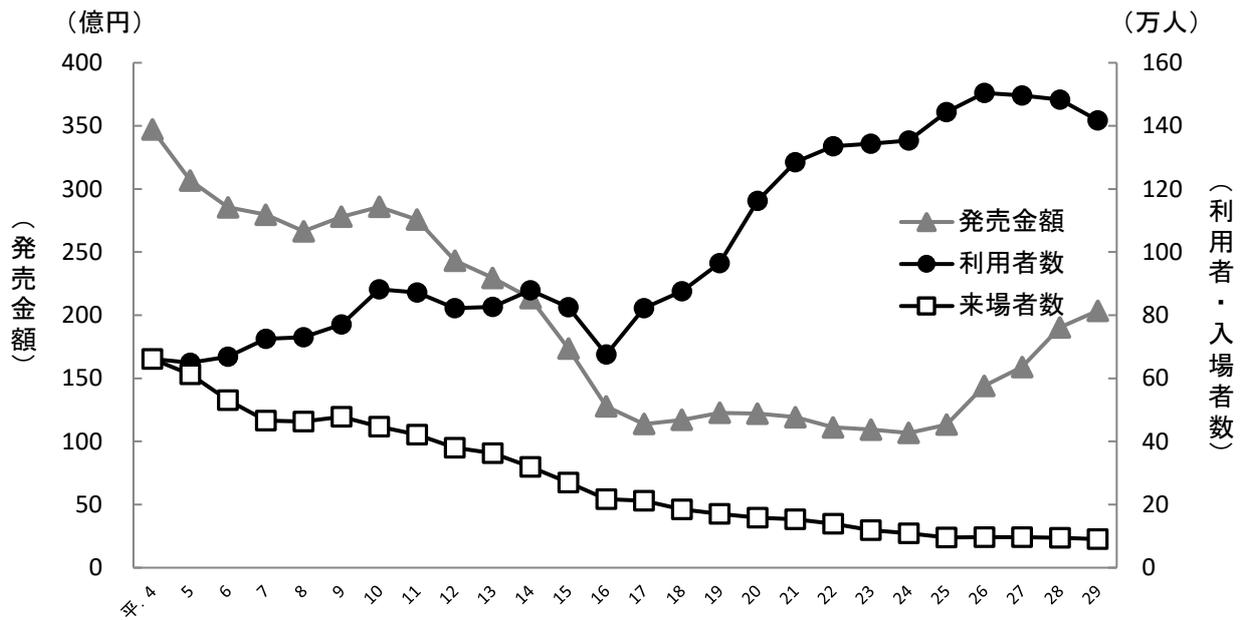
平成29年度体内受精卵移植頭数は、1,204頭(乳用牛受精卵110頭、肉用牛受精卵1,094頭)で、対前年比106.1%であった。乳用牛受精卵は、乳用牛100頭、肉用牛10頭に移植し、肉用牛受精卵は、乳用牛729頭、肉用牛285頭及びF1 80頭に移植した。

採卵実績は、正常卵が平成28年度1,295卵(乳用牛177卵、肉用牛1,118卵)に対し、平成29年度は、1,232卵(乳用牛120卵、肉用牛1,112卵)であった。

受胎率は平成28年度が42.6%であったのに対し、平成29年度は42.9%と増加し、生産頭数は平成28年度が168頭であったのに対し、平成29年度は116頭と減少した。

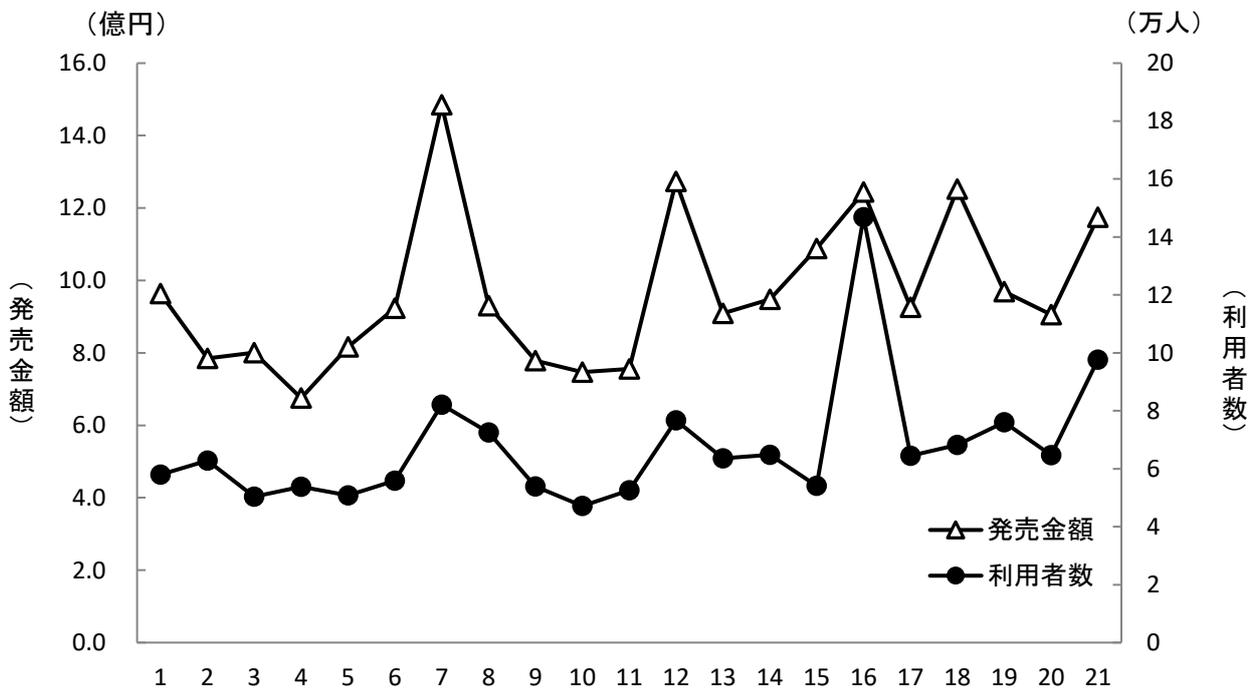
# 12 競馬

## 競馬事業成績の推移



注1: 来場者数には、シアター恵那入場者数を含まない  
 注2: 利用者数は、インターネット利用者等を含まない

## 平成29年度開催別成績



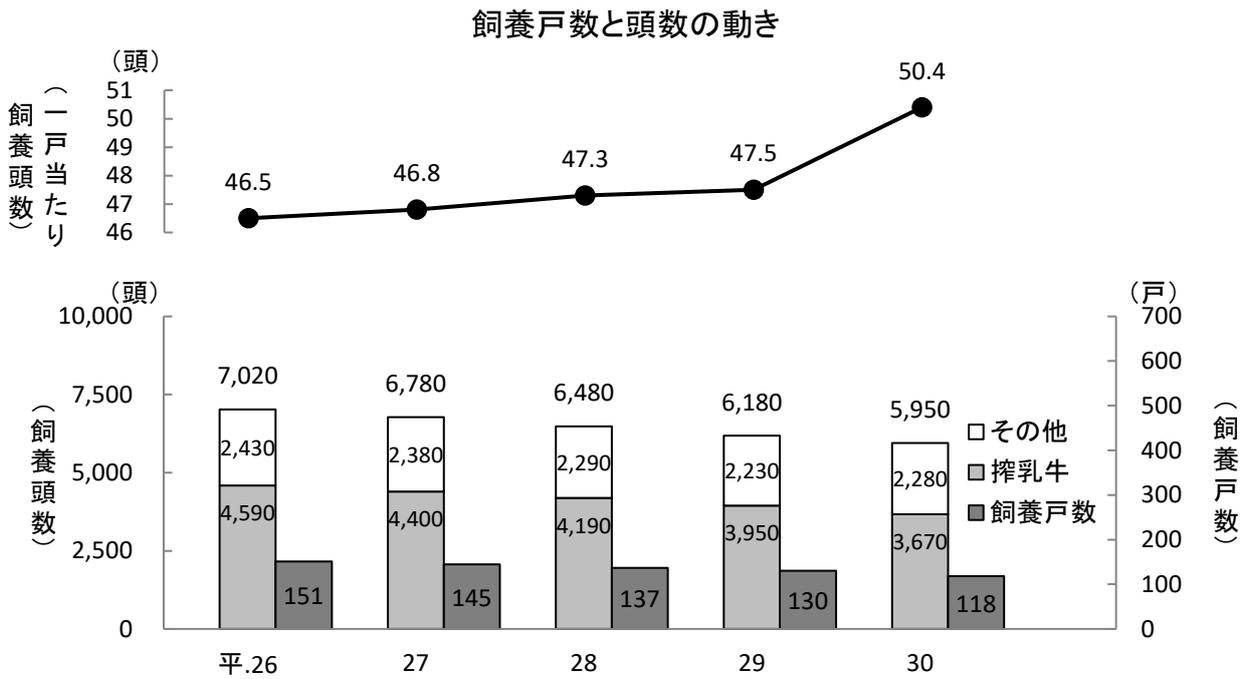
資料: 県農政課笠松競馬支援室

### 発売金額は前年に比べ増加

岐阜県地方競馬組合は、平成29年度に21回95日開催した。利用者数は、1,417,039人で前年に比べ4.5%減少、発売金額は約204億円で前年に比べ6.9%増加した。



## (2) 乳用牛の飼養戸数と頭数



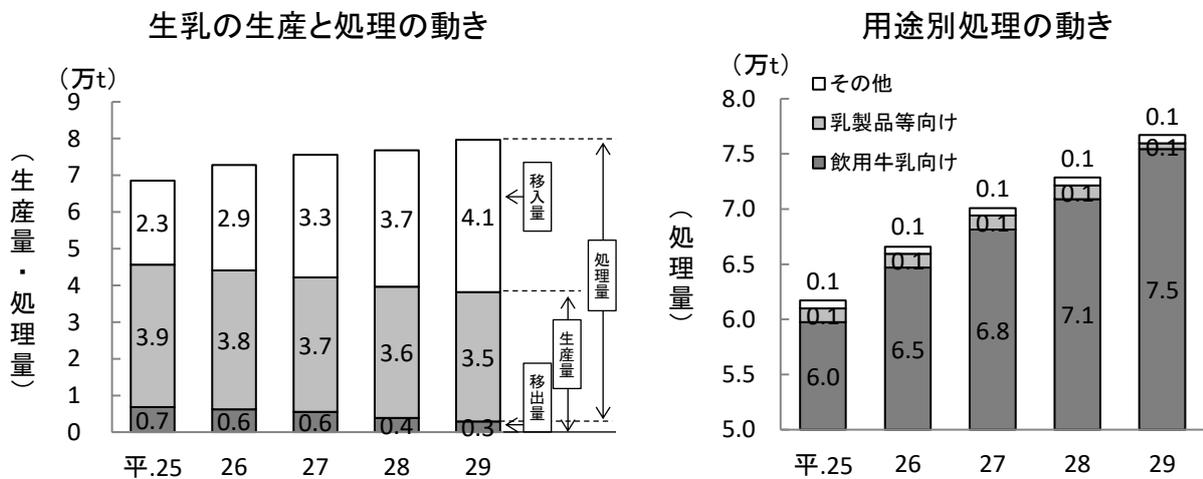
資料:農林水産省統計部「畜産統計調査」

### 飼養戸数、頭数は減少、1戸当たり頭数は増加

平成30年2月1日現在の飼養戸数は、118戸で前年に比べ9.2%減少した。また飼養頭数は5,950頭で前年に比べ3.7%減少し、飼養戸数・頭数は、ともに減少傾向にある。1戸当たり飼養頭数は、50.4頭と増加した。

飼養頭数のうち搾乳牛頭数は3,670頭で前年に比べ7.1%減少した。飼養頭数に占める搾乳牛頭数の割合は、61.7%で全国の55.1%に比べ高い割合となっている。

## (3) 生乳の生産と処理量



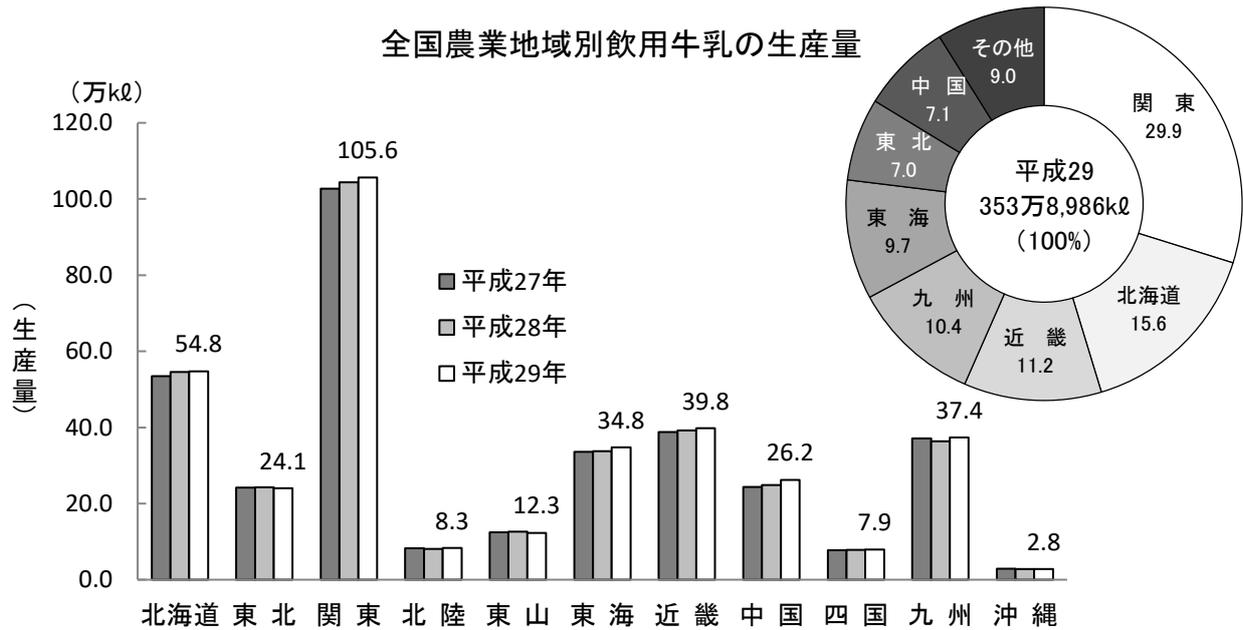
資料:農林水産省統計部「牛乳乳製品統計調査」

### 減少が続く生乳生産量

平成29年の生乳の生産量は、3万8,176tで前年に比べ3.7%減少した。処理量は、7万6,715tで前年に比べ5.3%増加した。

用途別処理量は、飲用牛乳向けが7万5,443tで前年に比べ6.4%増加した。乳製品等向け処理量が510t、その他が762tであった。この結果、飲用牛乳向け比率は、98.3%となった。

#### (4) 全国の飲用牛乳の生産

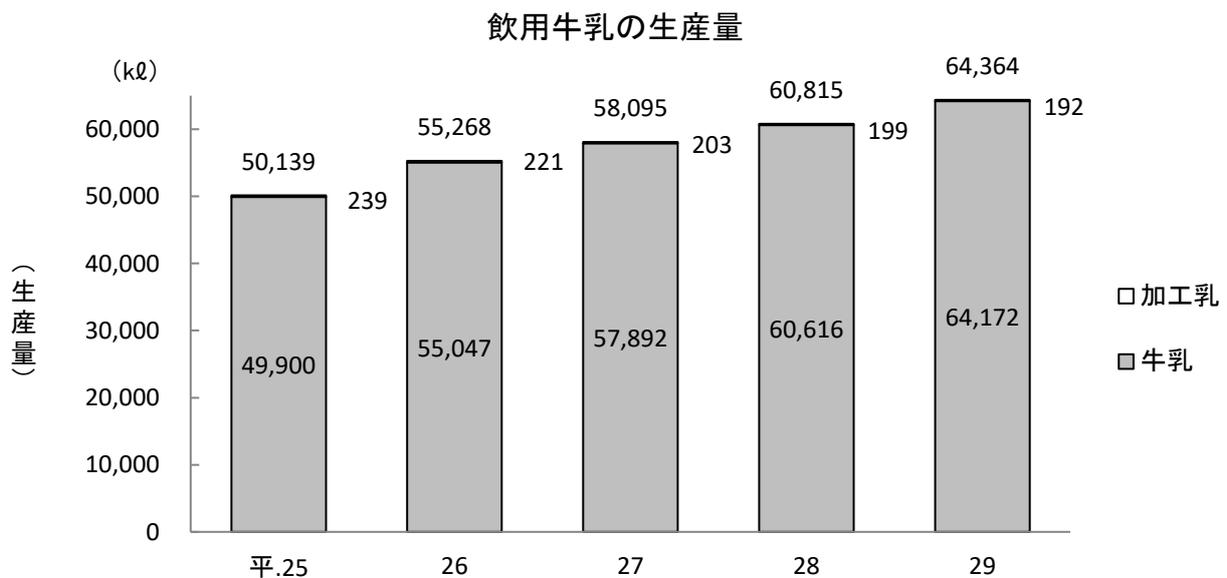


資料:農林水産省統計部「牛乳乳製品統計調査」

#### 飲用牛乳の生産量はやや増加

平成29年の全国の飲用牛乳生産量は353万8,986kℓとなり、前年よりやや増加した。地域別の生産量は、大消費地を抱える関東地域が最も多く、次いで北海道、近畿の順となっている。

#### (5) 飲用牛乳の生産



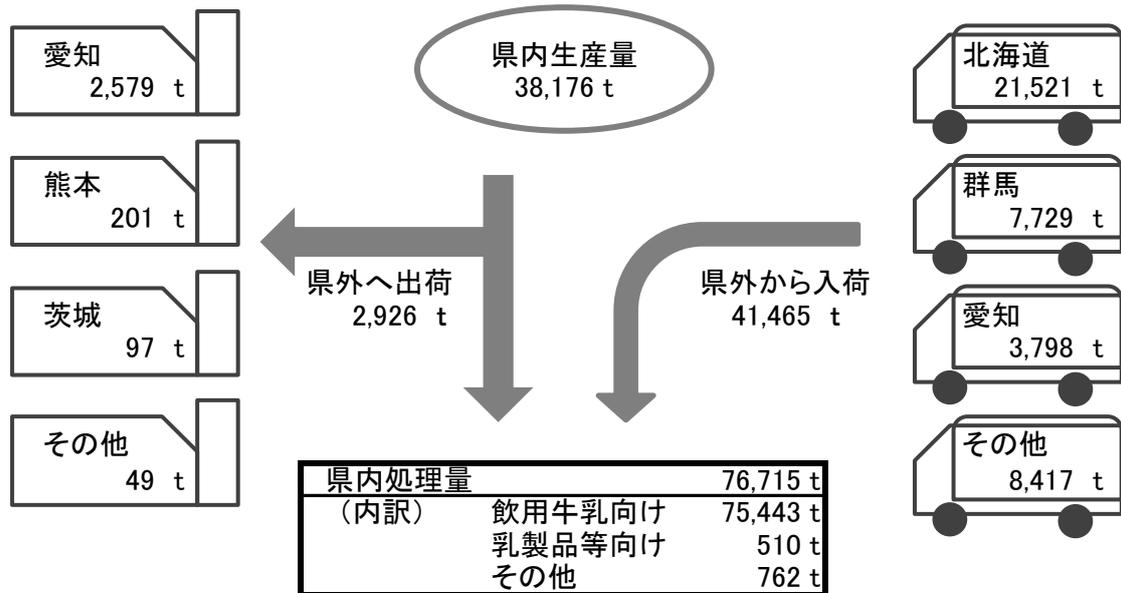
資料:農林水産省統計部「牛乳乳製品統計調査」

#### 飲用牛乳の生産量が増加

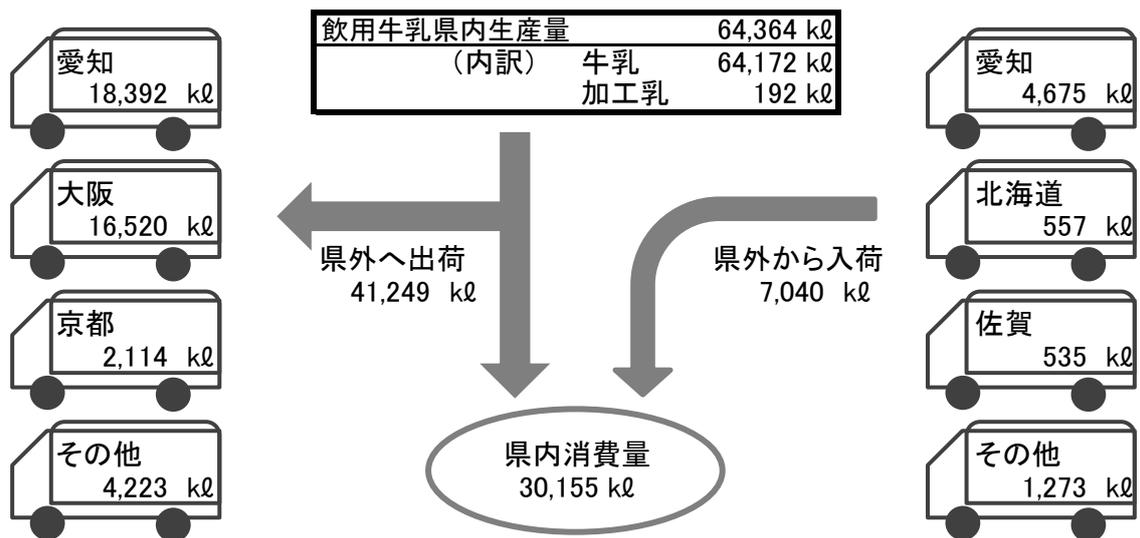
平成29年の飲用牛乳の生産量は、6万4,364kℓで前年に比べ5.6%増加した。このうち牛乳は、6万4,172kℓで5.9%増加し、加工乳は192kℓで3.5%減少した。

(6) 生乳と飲用牛乳の流通

生乳の流通経路(平成29年1月～12月)



飲用牛乳の流通経路(平成29年1月～12月)



注:ここでいう飲用牛乳消費量とは、県内の処理場等からの飲用牛乳生産量から直接県外へ出荷、  
又は、他県の処理場等から入荷した流通量(第1次流通量)を加減したものである。

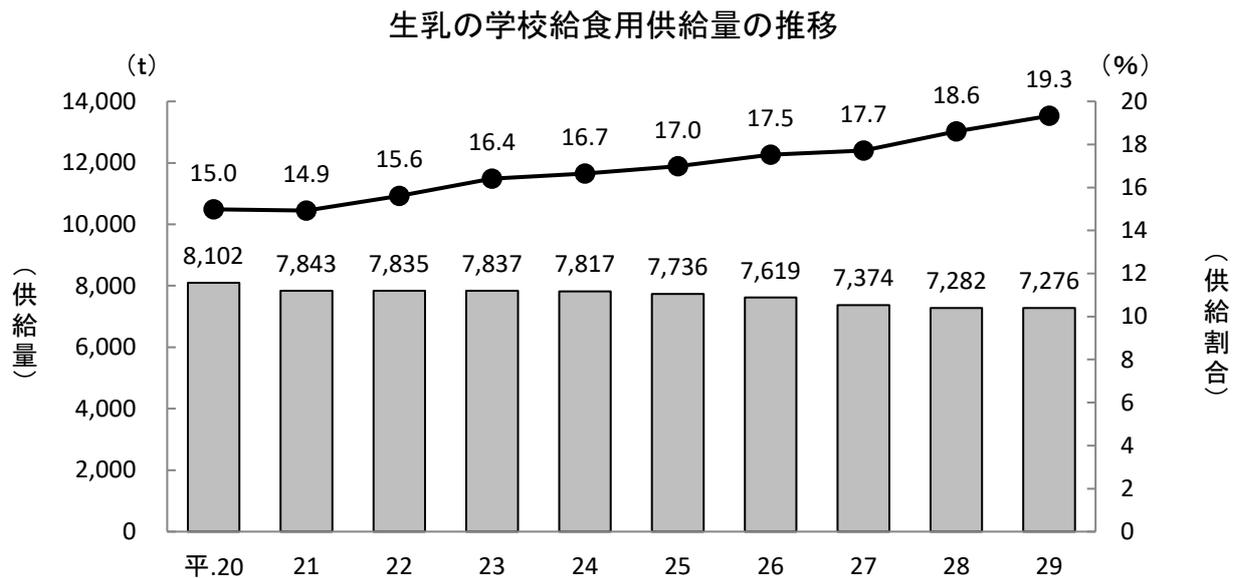
資料:農林水産省統計部「牛乳乳製品統計調査」

生乳の処理量は増加

平成29年に県内処理工場へ搬入された生乳は、県内で生産されたもの3万8,176tのうち92%に当たる3万5,250tと県外からの移入量4万1,465tを加えた7万6,715tが処理された。処理量は、前年に比べ5.3%増加した。

また、県内の飲用牛乳の消費量は、3万155kℓで前年に比べ10.1%減少した。

(7) 生乳の学校給食用供給量の推移



資料: 県畜産課「学校給食用牛乳供給事業調査」

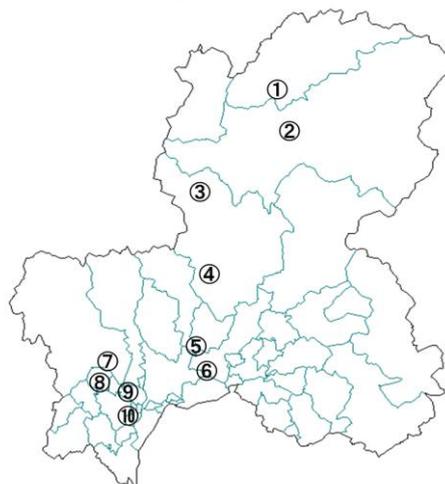
供給量はわずかに減少、供給割合は上昇

平成29年度生乳の学校給食用供給量は、前年度と比べて0.1%減の7,276tとなった。また、生乳の総生産量に対する供給割合は、19.3%と上昇した。(平成29年度県内総生産量 37,645t)

(8) 県内の学校給食用牛乳供給乳業工場

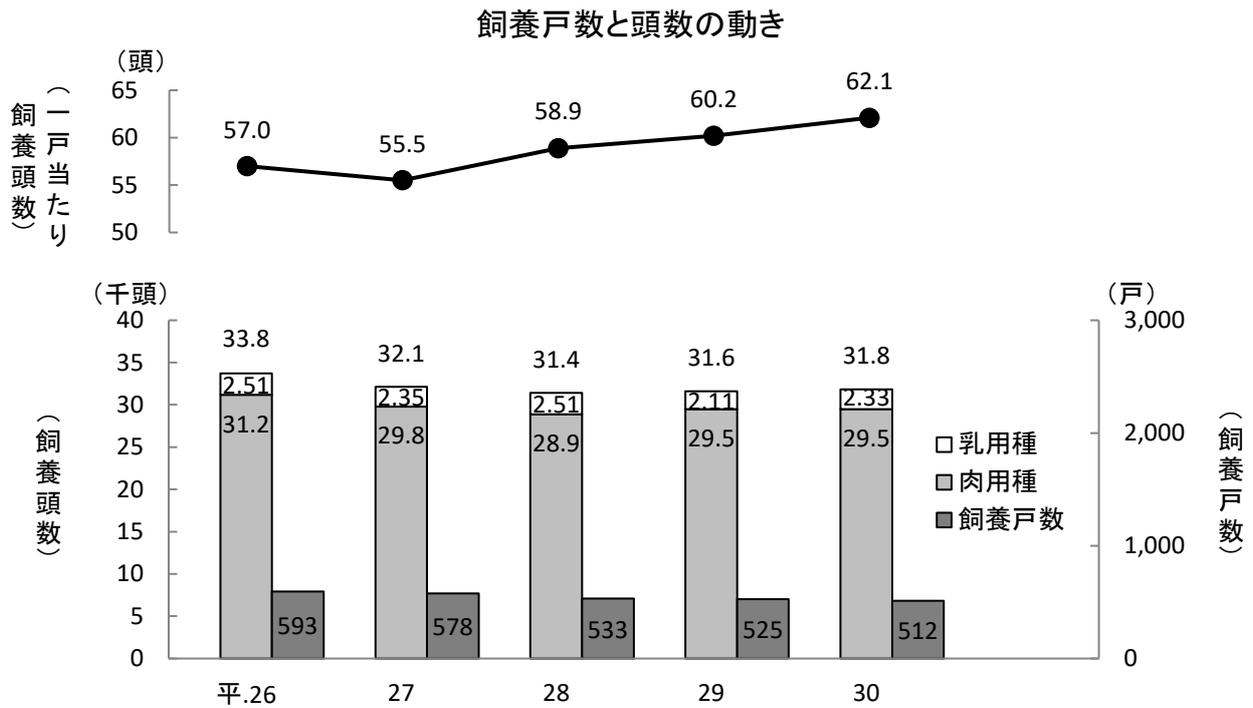
	工場名	〒	所在地	電話番号	FAX番号
①	牧成舎	509-4242	飛騨市古川町増島町17-8	0577-73-2226	0577-73-4763
②	飛騨酪農農業協同組合	506-0035	高山市新宮町3369	0577-32-0208	0577-32-0315
③	株たかすファーマーズ	501-5301	郡上市高鷲町ひるがの4670-233	0575-73-1022	0575-73-1023
④	旬郡上乳社	501-4222	郡上市八幡町島谷1204	0575-65-3592	0575-65-3176
⑤	美濃酪農農業協同組合連合会北濃工場	501-3756	美濃市生櫛472	0575-33-4455	0575-35-1262
⑥	関牛乳(株)	501-3835	関市観音前41	0575-22-0402	0575-22-3043
⑦	棚橋牛乳	501-0619	揖斐郡揖斐川町三輪1281-1-1	0585-22-0461	0585-23-1582
⑧	棚橋牧場	503-2424	揖斐郡池田町池野470	0585-45-2155	0585-45-7805
⑨	東海牛乳(株)	503-2304	安八郡神戸町丈六道66	0584-27-4131	0584-27-7511
⑩	岐阜グリコ乳業(株)	503-0123	安八郡安八町南條1201	0584-64-2345	0584-64-4511

資料: 県畜産課





## (2) 肉用牛の飼養戸数と頭数

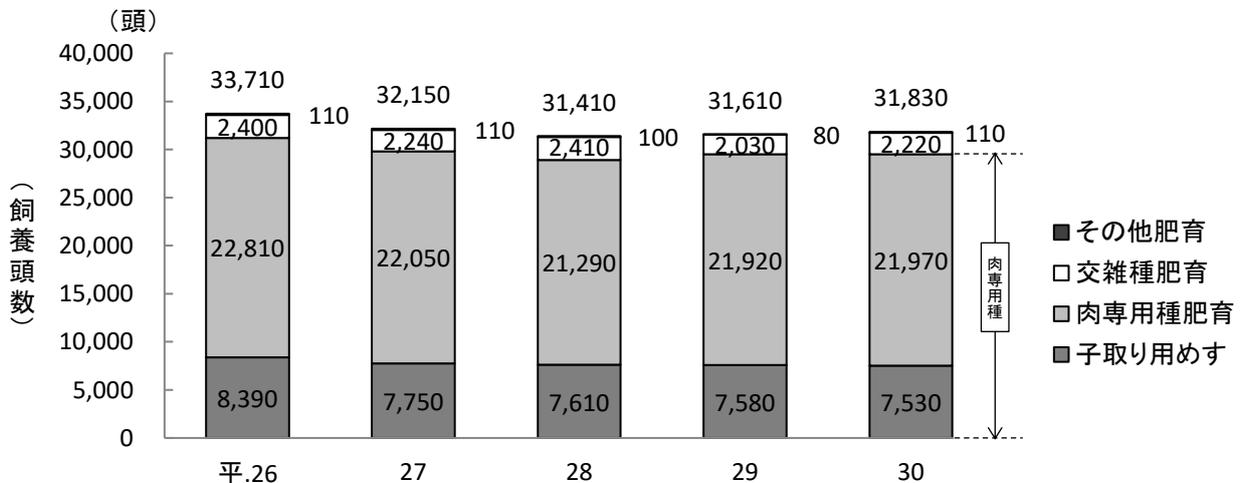


資料: 農林水産省統計部「畜産統計調査」

### 飼養戸数は減少、1戸あたり頭数はやや増加

平成30年2月1日現在の飼養戸数は512戸で、前年に比べ3.2%減少した。また、飼養頭数は3万1,800頭で、前年に比べ0.6%増加した。種類別にみると、肉用種は2万9,500頭で前年と同頭数、乳用種は2,330頭で前年に比べ10.4%増加した。1戸あたり飼養頭数は62.1頭で、前年に比べて3.2%増加した。

## (3) 肉用牛の種別飼養頭数

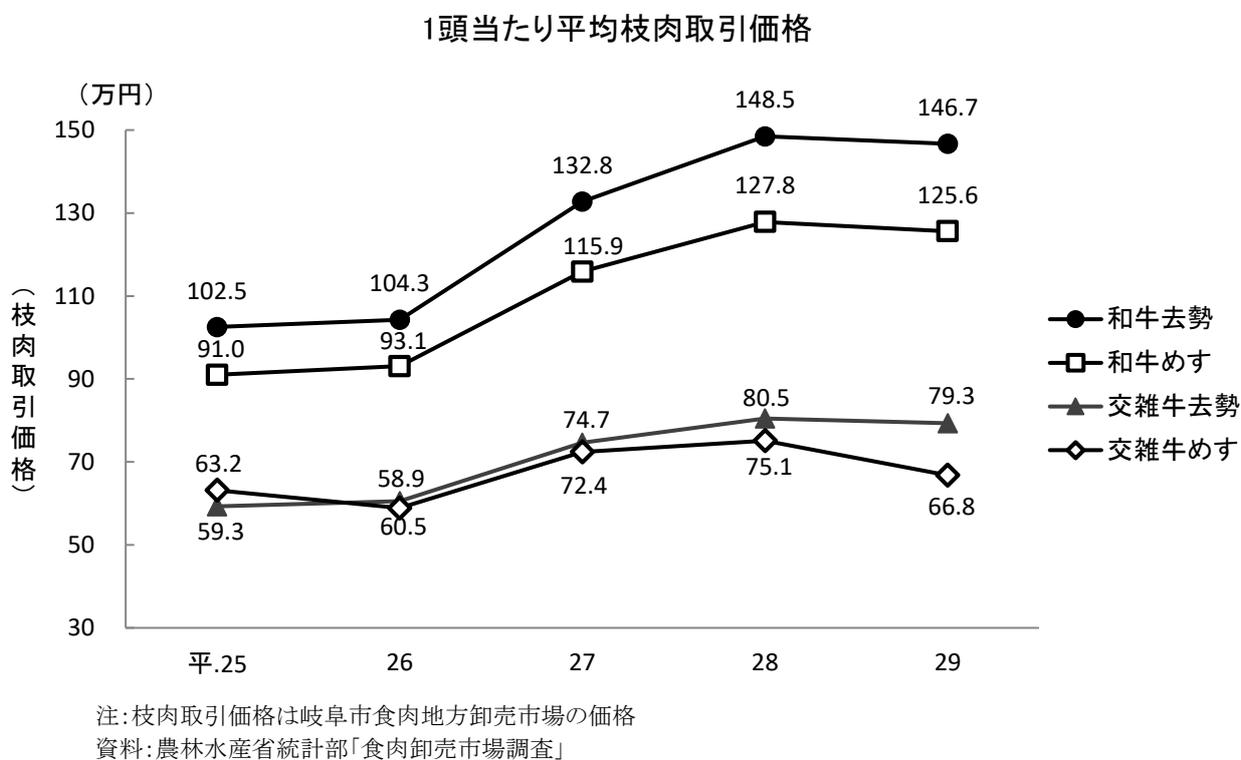
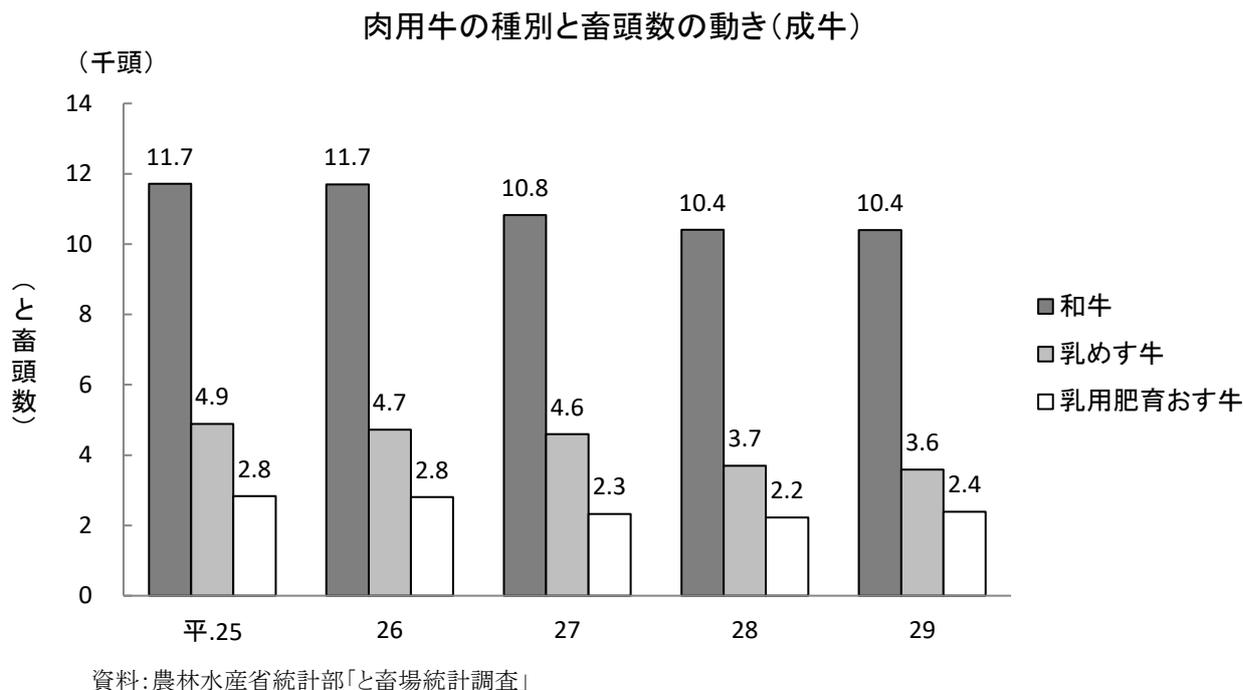


資料: 農林水産省統計部「畜産統計調査」

### 子取り用めす牛飼養頭数はやや減少、交雑種割合はやや減少

子取り用めす牛飼養頭数は7,530頭で、前年に比べ0.7%減少した。また、乳用種に占める交雑種の割合は、95.3%でやや減少した。

#### (4) 肉用牛のと畜頭数と取引価格



#### 肉用牛のと畜頭数は減少、和牛の1頭当たり枝肉取引価格は下降

平成29年の肉用牛のと畜頭数は1万6,378頭で、前年に比べ0.2%減少した。これを畜種別にみると、和牛では0.1%、乳めす牛では2.9%減少し、乳用肥育おす牛では7.3%増加した。

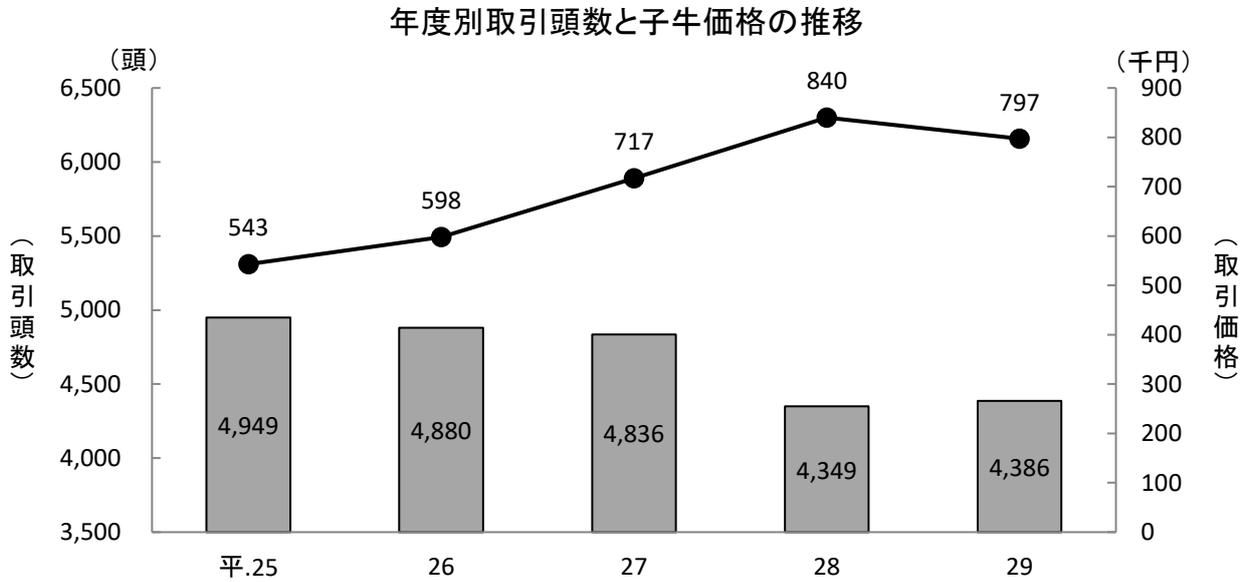
1頭当たりの平均枝肉取引価格は、和牛去勢146万6,659円、和牛めす125万6,326円、交雑牛去勢79万3,000円、交雑牛めす66万7,857円で、前年に比べ和牛去勢は1.2%、和牛めすは1.7%、交雑牛去勢は1.4%、交雑牛めすは11.1%といずれも下降した。

(5) 県内の子牛市場

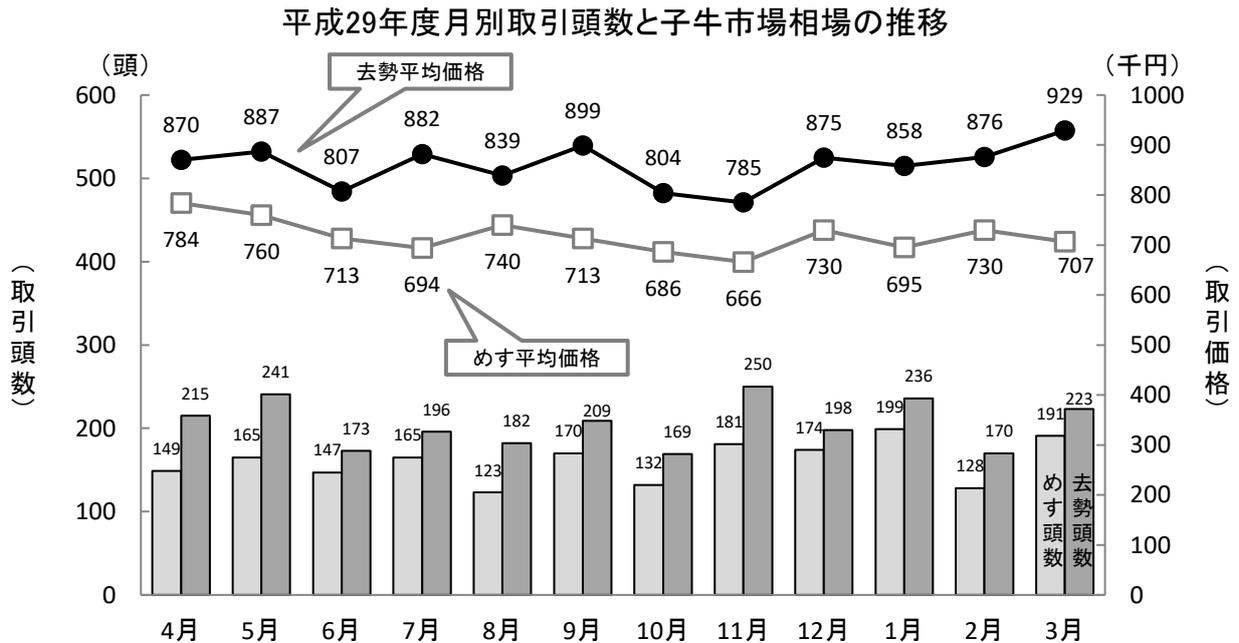
市場名	〒	所在地	平成29年度年間取引頭数
飛騨家畜市場	506-0001	高山市冬頭町597	2,426 頭
関家畜市場	501-3928	関市西田原字大河原441	1,960 頭

資料:(独)農畜産業振興機構

(6) 肉用子牛価格



資料:(独)農畜産業振興機構



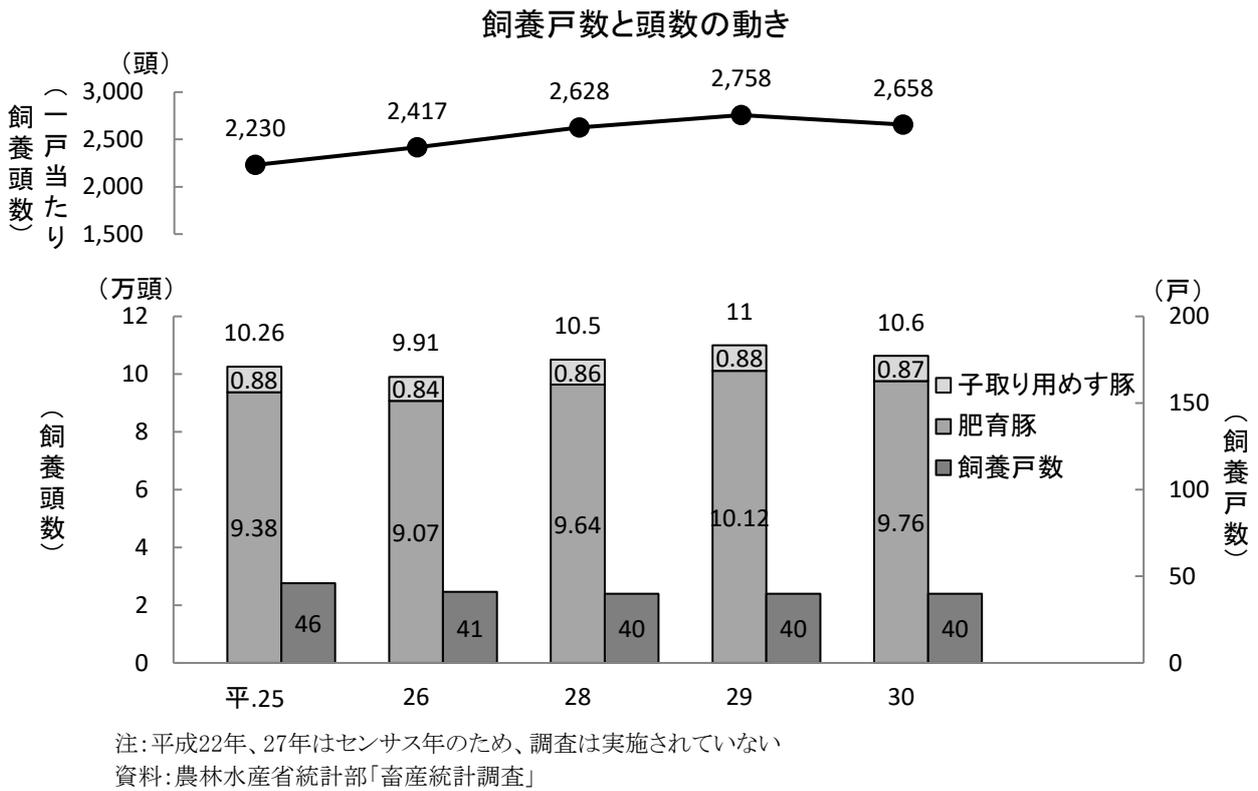
資料:(独)農畜産業振興機構

肉用子牛の取引頭数は前年並み、取引価格は減少

平成29年度の岐阜県内子牛市場の取引頭数は4,386頭で、前年に比べ0.9%増加した。肉用子牛価格については797千円で、前年に比べて5.1%(46千円)減少した。



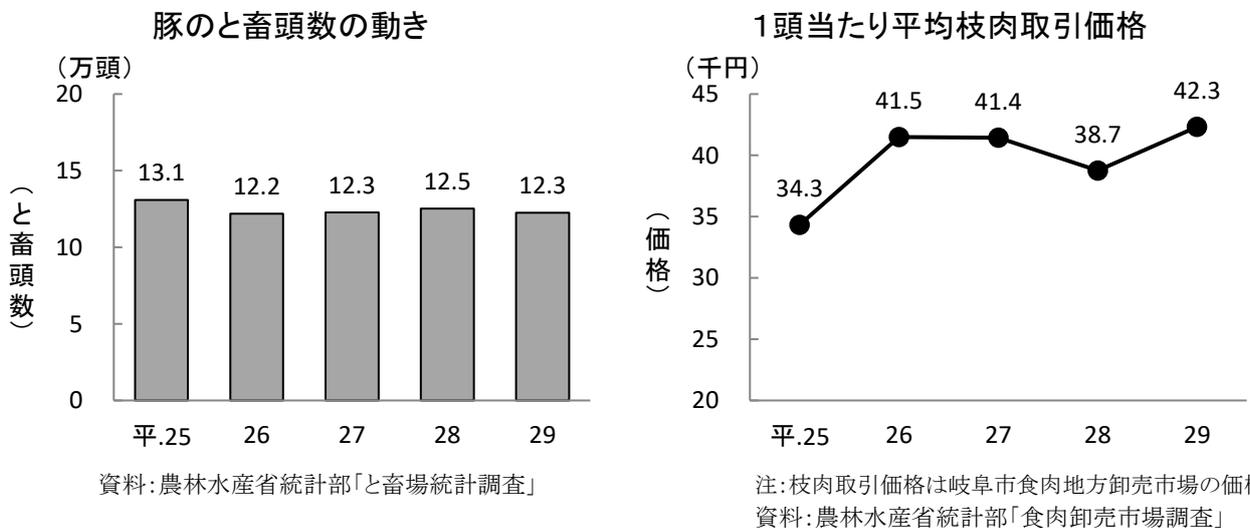
## (2) 豚の飼養戸数と頭数



### 飼養戸数は前年と同戸数、頭数・1戸あたり頭数はやや減少

平成30年2月1日現在の飼養戸数は40戸で、前年と同戸数、飼養頭数は10万6,300頭で、3.4%減少した。1戸当たりの飼養頭数は2,658頭で、前年に比べ3.6%減少し、全国平均の2,055頭を上回っている。

## (3) 豚のと畜頭数と取引価格

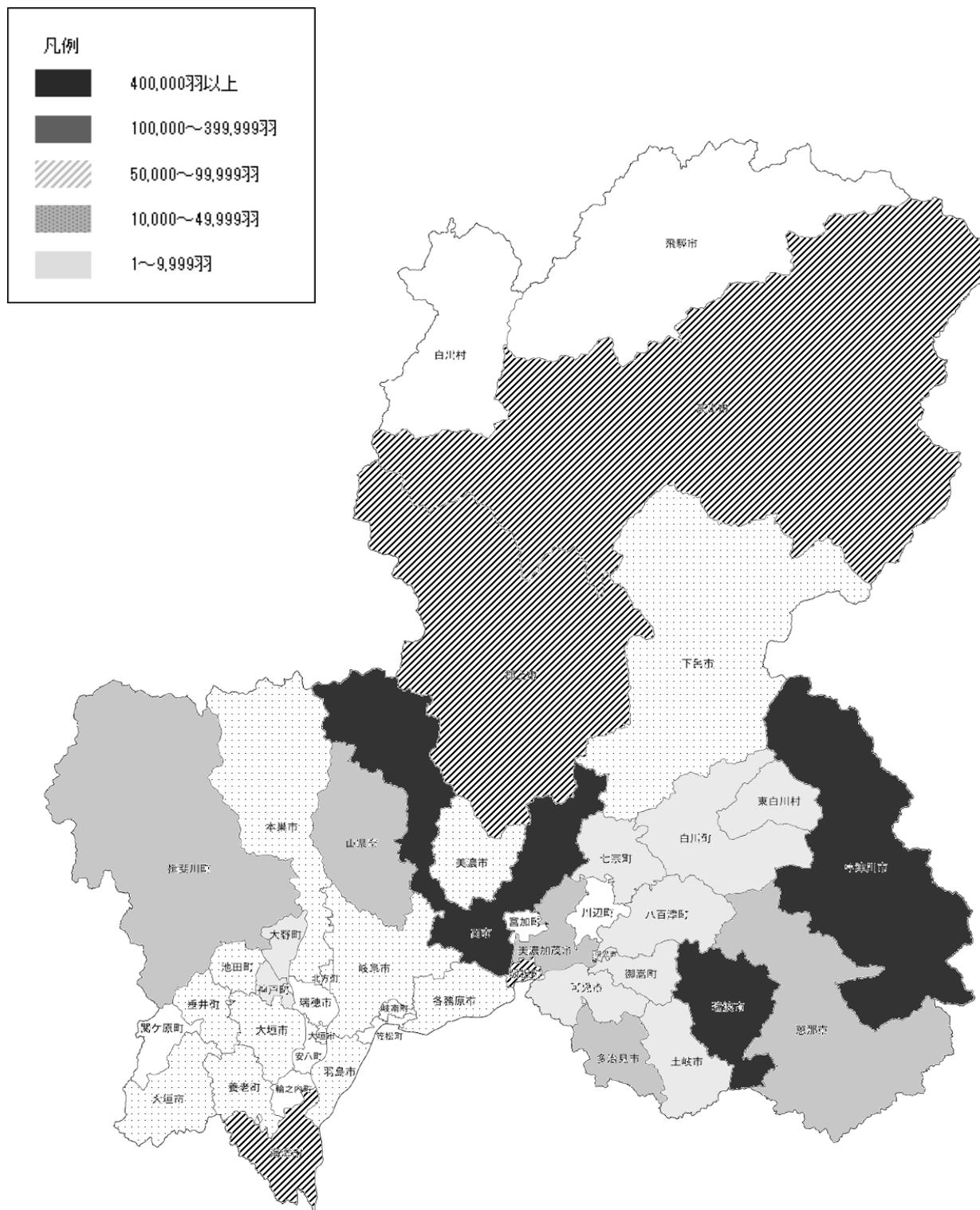


### と畜頭数はやや減少、1頭あたり枝肉取引価格は増加

平成29年の豚のと畜頭数は12万2,631頭で、前年と比べて2.1%減少、肉豚1頭あたり平均価格は4万2,322円で、前年と比べて9.2%増加した。

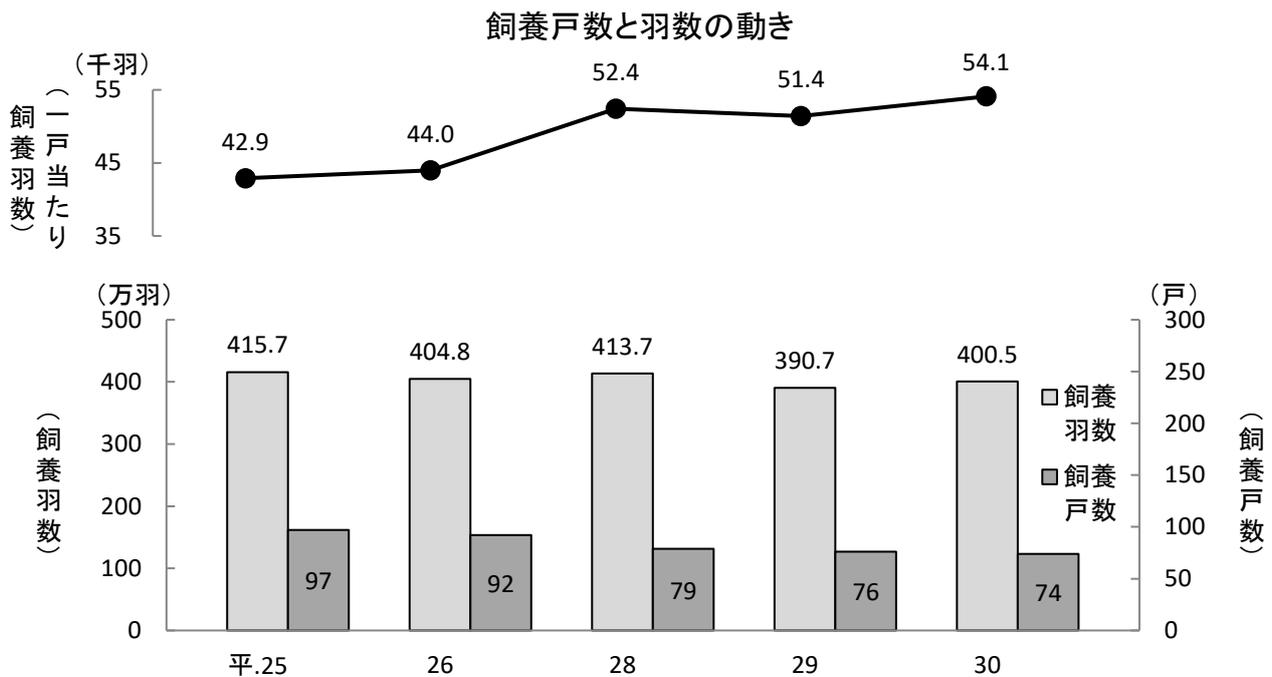
## 4 採卵鶏・ブロイラー

(1) 採卵鶏の飼養羽数の分布(平成30年2月1日現在)



資料:畜産課

## (2) 採卵鶏の飼養戸数と羽数



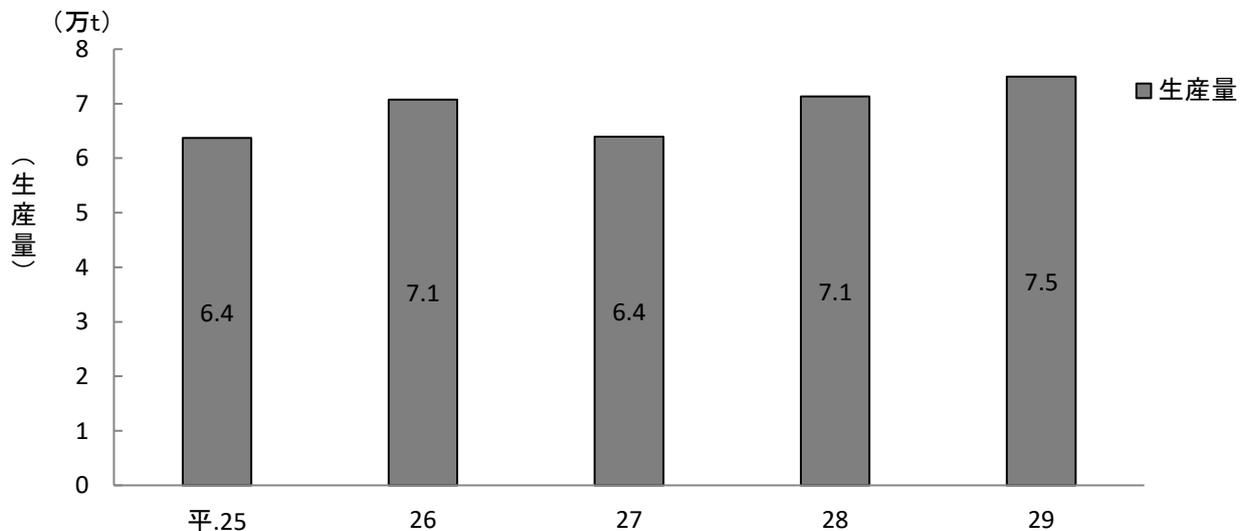
注: 平成22年、27年はセンサス年のため、調査は実施されていない  
資料: 農林水産省統計部「畜産統計調査」

### 飼養戸数はやや減少、飼養羽数・1戸当たり羽数はやや増加

平成30年2月1日現在の飼養戸数(種鶏のみの飼養者を除く)は74戸で、前年に比べ2.6%減少した。成鶏めす飼養羽数(種鶏を除く)は400万5,000羽で、2.5%増加した。

なお、1戸当たり成鶏めす羽数は5万,4100羽で、前年に比べ5.3%増加した。全国平均は、6万3,200羽で、9.2%増加した。

## (3) 鶏卵の生産量



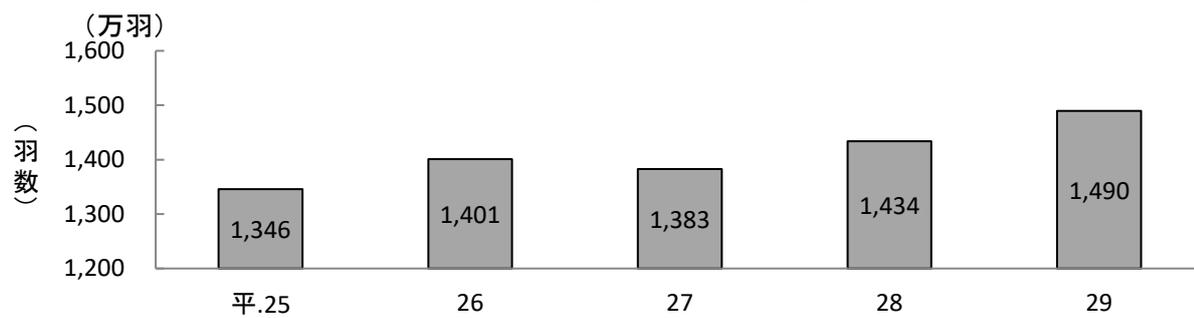
資料: 農林水産省統計部「鶏卵流通統計調査」

### 生産量はやや増加

平成29年の鶏卵生産量は7万4,954tで、前年と比べて5.1%増加した。

#### (4) ひな出荷羽数

県内登録ふ化業者の採卵用ひな出荷羽数の動き

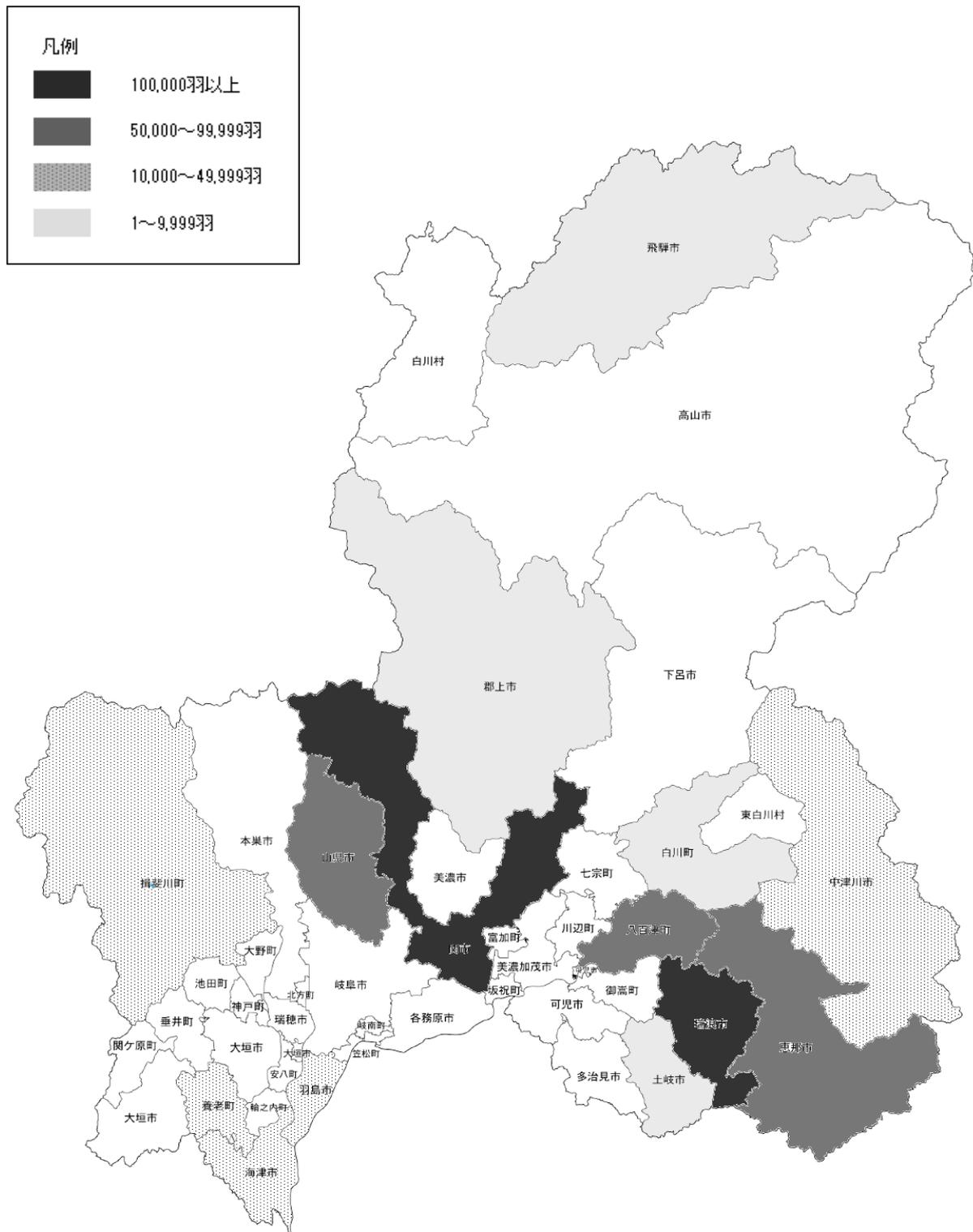


資料: 県畜産課

#### 採卵用ひな出荷羽数は増加

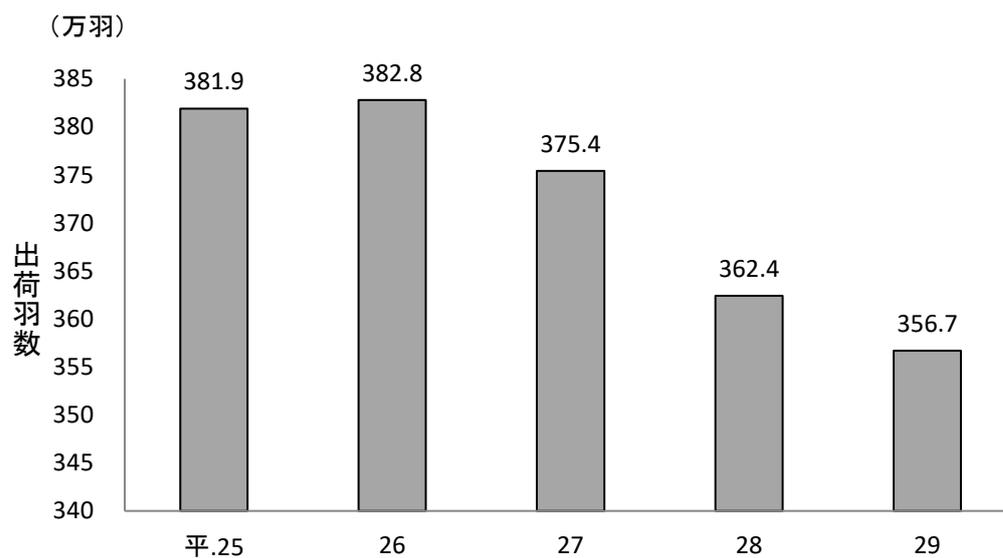
県内登録ふ化業者の採卵用ひな出荷羽数は、1,490万羽であり前年に比べ3.9%増加した。

(5)ブロイラーの飼養羽数の分布(平成30年2月1日現在)



資料:畜産課

## (6)ブロイラーの出荷羽数



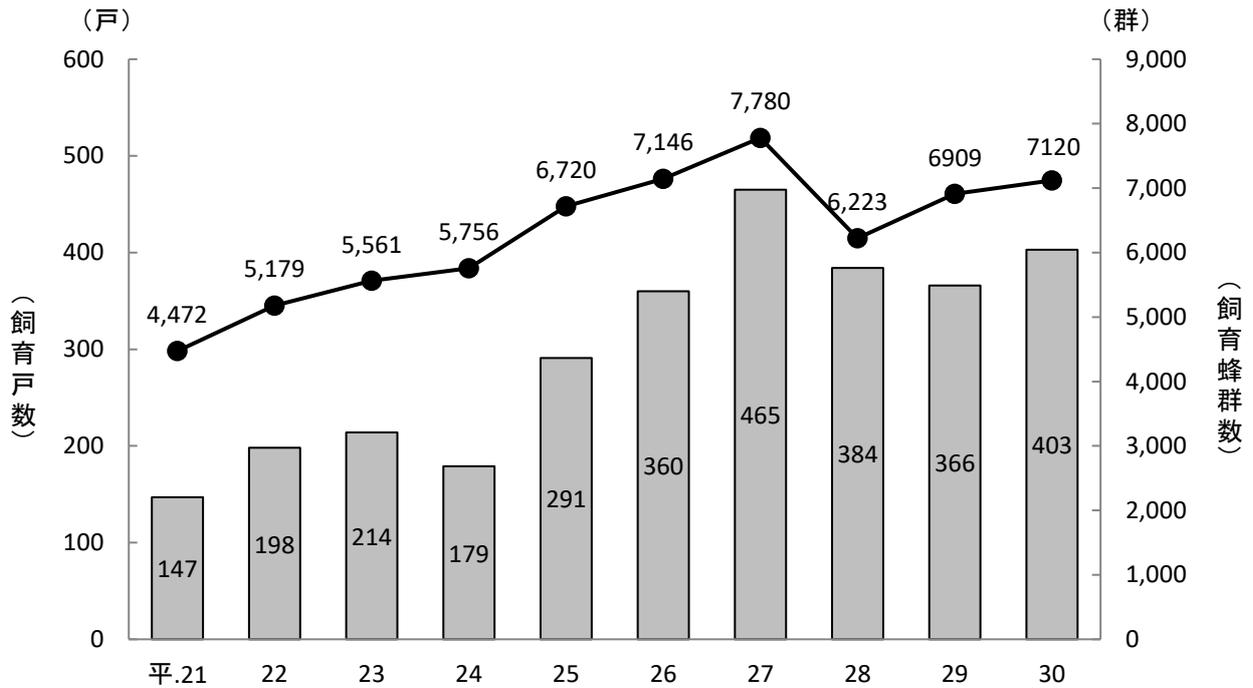
資料:農林水産省統計部「食鳥流通統計調査」、「畜産統計調査」

### 出荷羽数は減少

平成29年のブロイラー出荷羽数は356万7,000羽で、前年と比べて1.6%減少した。

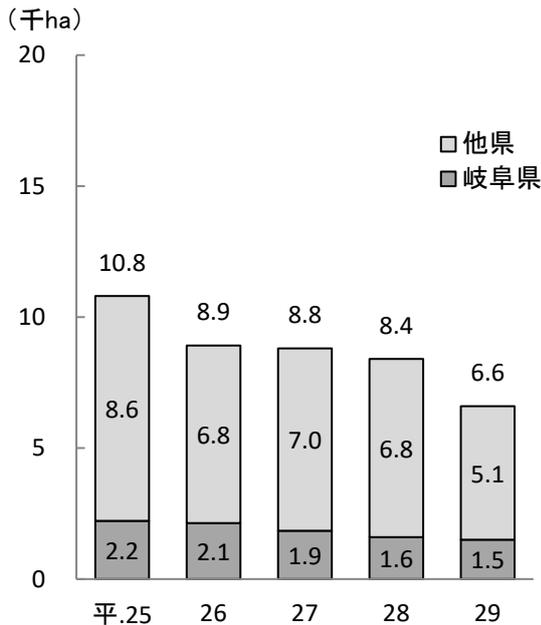
## 5 養蜂

### 蜜蜂飼育状況の推移



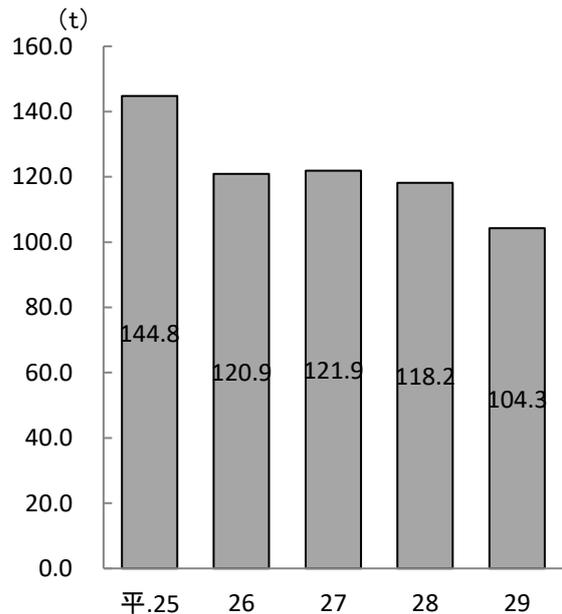
資料:養蜂振興法に基づく「飼育届」届け出結果

### 全国のレンゲ作付面積に占める岐阜県の割合



資料:農林水産省「養蜂をめぐる情勢」、県畜産課

### 県内のはちみつ生産量



資料:岐阜県養蜂組合連合会

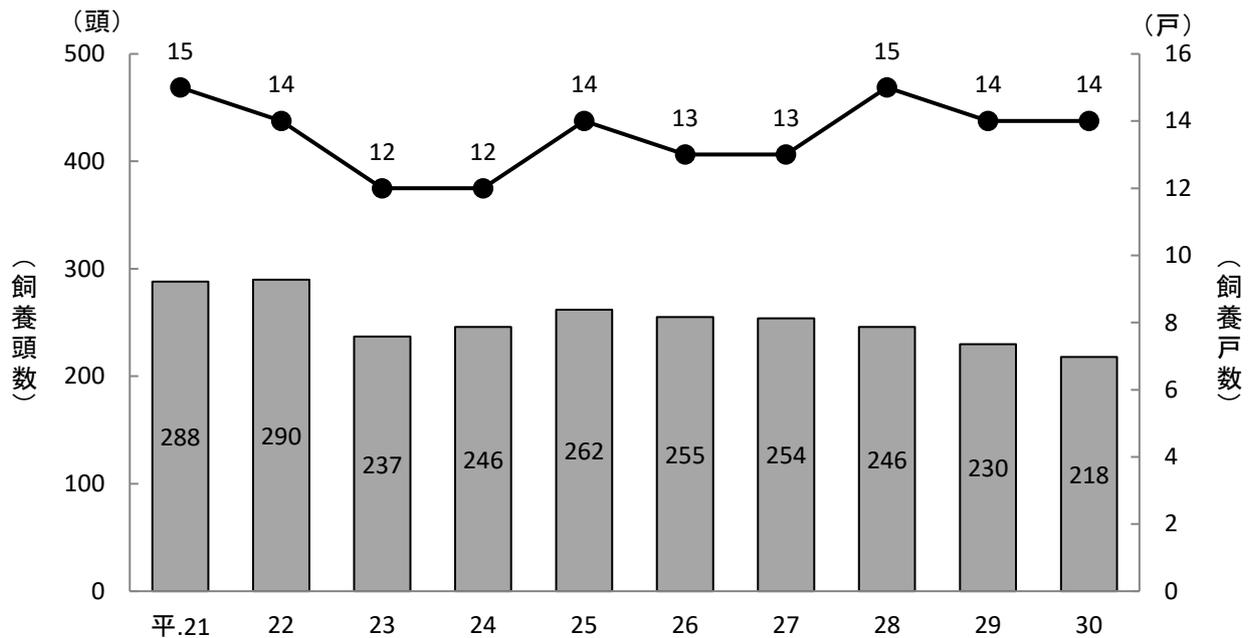
### 飼育戸数、飼育群数の推移はやや増加

平成30年1月1日現在の飼育戸数は403戸で、前年に比べ10%増加し、飼育蜂群数は7,120群で、前年に比べ3%増加した。平成24年6月の養蜂振興法の改正に伴い、蜜蜂飼育届の対象者が養蜂業者に加え、趣味などで蜜蜂を飼育する者まで拡大され、届け出結果による飼育戸数及び群数は不安定な推移となっていたが、近年はやや増加傾向となっている。

県の花であり、蜜源として重要な役割を果たしているレンゲの作付面積は、年々減少傾向にあり、平成29年度は1.5千haであった。平成29年度の県内はちみつ生産量は、前年に比べ12%減少し、104.3万tであっ

## 6 めん羊・馬

### (1) めん羊の飼養戸数と頭数

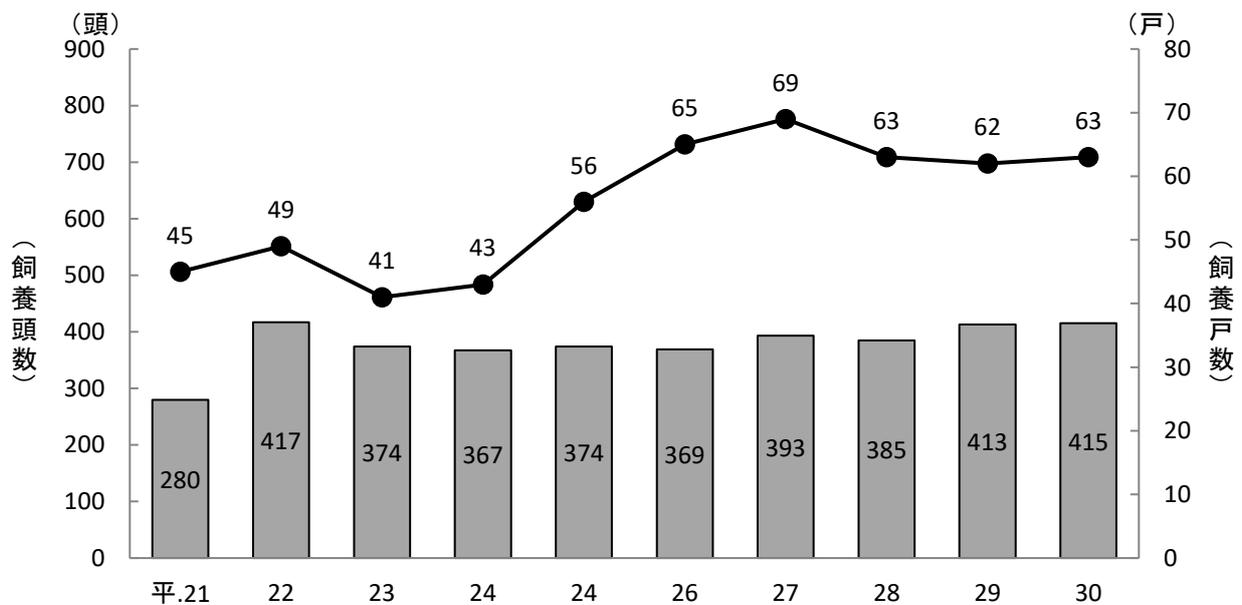


資料: 県畜産課

### めん羊の飼養頭数はやや減少

平成30年2月1日現在のめん羊の飼育戸数は14戸であった。飼育頭数は、前年に比べて12頭減少して218頭になった。

### (2) 馬の飼養戸数と頭数



注: 笠松競馬は除く

資料: 県畜産課

### 馬の飼育頭数は前年並み

平成30年2月1日現在の馬の飼養戸数は、63戸であった。飼養頭数は、前年に比べて2頭増加して415頭となった。

## 公共牧場の概要

番号	分 区 牧場名	牧場所在地	所有者	管理者	牧場 面積 (ha) <sup>※1</sup>	左の内訳(ha) <sup>※1</sup>			H29.7.1現在飼養頭数 <sup>※3</sup>		
						牧草地 <sup>※2</sup>	野草地 (混牧林 地)	その他	乳用牛	肉用牛	その他
1	とうのぼくじょう 東濃牧場	恵那市長島町鍋山	岐阜県	(一社)岐阜県農畜産公社	242	175 (53)	-	67	601	62	山羊
2	ひだぼくじょう 飛騨牧場	高山市清見町檜谷	岐阜県	(一社)岐阜県農畜産公社	410	281 (44)	-	129	-	577	-
3	みぞればくじょう 水沢上牧場	郡上市明宝奥住	郡上市	郡上市	100.2	85 (17)	8.2	7	-	○	-
4	たきうえぼくじょう 滝上牧場	下呂市小坂町滝上	下呂市	南飛騨牧場管理組合	130	41	89	-	-	○	-
5	くろいしぼくじょう 黒石牧場	下呂市馬瀬黒石	下呂市	南飛騨牧場管理組合	70	9	61	-	休止中		
6	いらいぼくじょう 岩井牧場	高山市岩井町	高山市	高山市	13	13	-	-	-	○	-
7	いっしきぼくじょう 一色牧場	高山市荘川町一色	高山市	高山市	75	61	14	-	-	○	-
8	ひらいわぼくじょう 平岩牧場	高山市朝日町胡桃島	飛騨森林管理署	平岩牧野管理組合	8	8	-	-	-	○	-
9	おおひらぼくじょう 大平牧場	高山市朝日町胡桃島	岐阜森林管理署	大平牧野管理組合	170	-	170	-	-	○	-
10	ひだおんたけぼくじょう 飛騨御岳牧場	高山市高根町日和田・猪之鼻	高山市	高山市	473	174	299	-	-	○	-
11	ほだかぼくじょう 穂高牧場	高山市奥飛騨温泉郷神坂	飛騨森林管理署	高山市和牛改良組合上宝支部	8	8	-	-	休止中		
12	かみやすぼくじょう 荻安牧場	高山市一之宮町荻安	高山市	宮村草地管理組合	40	40 (18)	-	-	○	-	-
13	おどりやまぼくじょう 小鳥山牧場	高山市清見町池本	高山市	高山市	71	71	-	-	-	○	-
14	しらゆみぼくじょう 白弓牧場	大野郡白川村木谷	白川村	白川村	40	20	20	-	-	○	-
15	おおふなぼくじょう 大船牧場	恵那市上矢作町	恵那市	恵那市	24	24	-	-	休止中		
16	なかつわしふれあいぼくじょう 中津川市ふれあい牧場	中津川市落合	中津川市	中津川市	45	19 (12)	1	25	-	-	めん羊, 馬, 山羊
17	くらいやまぼくじょう 位山牧場	下呂市萩原町山之口	下呂市	南飛騨牧場管理組合	26	25	-	1	-	○	-
18	くてぼくじょう 久手牧場	高山市丹生川町久手	高山市	高山市	100	36 (4)	64	-	-	○	-
19	もりもぼくじょう 森茂牧場	飛騨市神岡町森茂	飛騨市	森茂牧場管理組合	14.7	14.7	-	-	休止中		
20	いしやすみぼくじょう 石休牧場	中津川市馬籠	中津川市	石休草地利用組合	11	11	-	-	○	○	-
21	かぐれぼくじょう 隠畑放牧場	高山市朝日町青屋	高山市	隠畑牧野管理組合	90	31	59	-	-	○	-
22	きびゅうぼくじょう 黍生牧場	高山市高根町黍生	黍生地区区有林	黍生和牛生産組合	137	-	137	-	-	○	-
23	まんみなみぼくじょう 万波牧場	飛騨市宮川町万波	飛騨市	農事組合法人飛騨かわい牧場	24	24 (24)	-	-	-	-	-
合計					2321.9	1170.7	922.2	229			

※1 四捨五入表示をしているため、各内訳を積み上げた数値は牧場面積の数値と一致しない場合がある。

※2 ( )内は採草地及び兼用地で内数

※3 飼養頭数は県有牧場のみ開示

平成29年度に利用されている公共牧場は19牧場あり、その所有状況は、県有2牧場、市町村有14牧場、任意組合有3牧場(うち国有林利用2牧場)となっている。

# 県内畜産関係機関一覧(順不同) ※平成31年4月1日時点

名 称	郵便番号	所 在 地	電 話	FAX
東海農政局岐阜県拠点(統計チーム)	500-8288	岐阜市中鷯2-26	(058)271-4064	271-4066
岐阜県農政部畜産振興課	500-8570	岐阜市藪田南2-2-1 (酪農・飼料係／養豚・養鶏係) (畜産基盤係／銘柄推進係)	(058)272-1111 (代) (058)272-8449 (直) (058)272-8447 (直)	278-2694
岐阜県農政部家畜防疫対策課		(防疫企画係／防疫指導係)	(058)272-8446 (直)	278-3531
岐阜農林事務所	500-8384	岐阜市藪田南5-14-53 OKBふれあい会館内	(058)213-7905 (直)	215-9029
西濃農林事務所	503-0838	大垣市江崎町422-3 西濃総合庁舎内	(0584)73-1111 (代)	73-1156
揖斐農林事務所	501-0603	揖斐郡揖斐川町上南方1-1 揖斐総合庁舎内	(0585)23-1111 (代)	22-6725
中濃農林事務所	501-3756	美濃市生櫛1612-2 中濃総合庁舎内	(0575)33-4011 (代)	33-4060
郡上農林事務所	501-4292	郡上市八幡町初音1727-2 郡上総合庁舎内	(0575)67-1111 (代)	67-0961
可茂農林事務所	505-8508	美濃加茂市古井町下古井2610-1 可茂総合庁舎内	(0574)25-3111 (代)	28-5301
東濃農林事務所	507-8708	多治見市上野町5-68-1 東濃西部総合庁舎内	(0572)23-1111 (代)	23-9440
恵那農林事務所	509-7203	恵那市長島町正家後田1067-71 恵那総合庁舎内	(0573)26-1111 (代)	26-1377
下呂農林事務所	509-2592	下呂市萩原町羽根2605-1 下呂総合庁舎内	(0576)52-3111 (代)	52-1483
飛騨農林事務所	506-8688	高山市上岡本町7-468 飛騨総合庁舎内	(0577)33-1111 (代)	36-1246
中央家畜保健衛生所	501-1112	岐阜市柳戸1-1	(058)201-0530	201-0531
中濃家畜保健衛生所	505-8508	美濃加茂市古井町下古井2610-1 可茂総合庁舎内	(0574)25-3111 (代)	27-3092
東濃家畜保健衛生所	509-7203	恵那市長島町正家後田1067-71 恵那総合庁舎内	(0573)26-1111 (代)	25-7669
飛騨家畜保健衛生所	506-8688	高山市上岡本町7-468 飛騨総合庁舎内	(0577)33-1111 (代)	32-9019
岐阜県農業大学校	509-0241	可児市坂戸938	(0574)62-1226	62-1227
岐阜県畜産研究所				
(飛騨牛研究部)	506-0101	高山市清見町牧ヶ洞4393-1	(0577)68-2226	68-2227
(酪農研究部)	509-7601	恵那市山岡町久保原1975-615	(0573)56-2769	56-2974
(養豚・養鶏研究部)	505-0037	美濃加茂市前平町3-8	(0574)25-2185	28-4132
(養豚・養鶏研究部 関試験地)	501-3924	関市迫間2672-1	(0575)22-3165	22-3164
岐阜県農業技術センター	501-1152	岐阜市又丸729-1	(058)239-3131 (代)	239-3139
岐阜県東濃牧場	509-7211	恵那市長島町正家鍋山4-66	(0573)56-2737	56-2146
岐阜県飛騨牧場	509-2701	高山市清見町櫛谷116-4	(0576)69-2188	69-2189
岐阜県地方競馬組合	501-6036	羽島郡笠松町若葉町12 笠松競馬場内	(058)387-3278	387-0974
(一社)岐阜県農畜産公社	500-8384	岐阜市藪田南5-14-12 岐阜県シンクタンク庁舎内	(058)276-4601	276-1268
岐阜大学応用生物科学部	501-1193	岐阜市柳戸1-1	(058)293-2834 (代)	293-2840
岐阜県農業協同組合中央会	500-8367	岐阜市宇佐南4-13-1 農協会館内	(058)276-5611	278-0039
岐阜県信用農業協同組合連合会	500-8367	岐阜市宇佐南4-13-1 農協会館内	(058)276-5111 (代)	278-0135
全国農業協同組合連合会岐阜県本部畜産販売課	501-3928	関市西田原字大河原441 関家畜流通センター内	(0575)23-6177 (代)	24-7554
JA東日本くみあい飼料(株)東海支店岐阜駐在	500-8367	岐阜市宇佐南4-13-1 農協会館内	(058)276-5345 (代)	276-5348
岐阜県農業共済組合連合会	501-6132	岐阜市次木348-1	(058)270-0081	270-0088

名 称	郵便番号	所 在 地	電 話	FAX
岐阜県酪農農業協同組合連合会	501-3756	美濃市生櫛439-2	(0575)46-8803	46-8891
(一社)岐阜県畜産協会	500-8385	岐阜市下奈良2-2-1 岐阜県福祉・農業会館内	(058)273-1111 (代) (058)273-9205 (直)	278-0068
(公社)全国和牛登録協会岐阜県支部	500-8385	岐阜市下奈良2-2-1 岐阜県福祉・農業会館内	(058)273-1111 (代)	278-0068
岐阜県肉用牛協会	500-8385	岐阜市下奈良2-2-1 岐阜県福祉・農業会館内	(058)273-1111 (代)	278-0068
岐阜県養豚協会	500-8385	岐阜市下奈良2-2-1 岐阜県福祉・農業会館内	(058)273-1111 (代)	278-0068
岐阜県養鶏協会	500-8385	岐阜市下奈良2-2-1 岐阜県福祉・農業会館内	(058)273-1111 (代)	278-0068
飛騨牛銘柄推進協議会	501-3928	関市西田原字大河原441 全農岐阜県本部畜産販売課内	(0575)23-6177 (代)	24-7554
飛騨けんとう・美濃けんとう普及推進協議会	501-3928	関市西田原字大河原441 全農岐阜県本部畜産販売課内	(0575)23-6177 (代)	24-7554
美濃ヘルシーポーク銘柄推進協議会	501-3928	関市西田原字大河原441 全農岐阜県本部畜産販売課内	(0575)23-6177 (代)	24-7554
奥美濃古地鶏普及推進協議会	501-2105	山県市高富227-4 岐阜アグリフーズ(株)内	0581-27-3766	22-1536
岐阜県家畜人工授精師協会	500-8385	岐阜市下奈良2-2-1 岐阜県福祉・農業会館内	(058)273-1111 (代)	273-9200
(公社)岐阜県獣医師会	500-8385	岐阜市下奈良2-2-1 岐阜県福祉・農業会館内	(058)273-1111 (代)	275-1843
岐阜県牛乳普及協会	501-3756	美濃市生櫛439-2	(0575)46-8803	46-8891
岐阜県牛乳協会	500-8385	岐阜市下奈良2-2-1 岐阜県福祉・農業会館内	(058)273-1111 (代)	274-4223
岐阜県牛乳事業協同組合	500-8385	岐阜市下奈良2-2-1 岐阜県福祉・農業会館内	(058)273-1111 (代)	274-4223
(一社)岐阜県農業会議	500-8384	岐阜市藪田南5-14-12 岐阜県シンクタンク庁舎内	(058)268-2527	273-6177
(株)岐阜県畜産公社	500-8266	岐阜市境川5-148	(058)272-2559	274-9666
岐阜県食肉事業協同組合連合会	500-8266	岐阜市境川5-148	(058)273-6011	274-8248
(一社)岐阜県配合飼料価格安定基金協会	500-8384	岐阜市藪田南1-5-1 第2松波ビル内	(058)273-9032	273-0328
岐阜県養蜂組合連合会	501-3152	岐阜市岩滝西1丁目129	080-4533-1068	058-242-9938
岐阜県家畜商協同組合	500-8357	岐阜市六条大溝4-4-7	(058)273-9207	271-1471
(公財)みつばちの家	502-0801	岐阜市椿洞776-3	(058)294-2002	—
(一社)岐阜県馬主会	501-6036	羽島郡笠松町若葉町12 笠松競馬場内	(058)388-1213	388-1213
岐阜県園芸特産振興会	500-8367	岐阜市宇佐南4-13-1 農協会館内	058-276-5337	276-5338
岐阜県飼料用米利用促進協議会	509-0108	各務原市須衛町4丁目291 岐阜養鶏農協内	(058)370-8323	370-8091
(一社)ぎふクリーン農業研究センター	500-8367	岐阜市宇佐南4-11-5	(058)276-5072	276-5074
岐阜県農業再生協議会	500-8570	岐阜市藪田南2-1-1 岐阜県庁農産園芸課内	(058)272-1111 (代)	278-2692

**2018 岐 阜 の 畜 産**

平成31年3月発行

編集・発行 岐 阜 県

岐阜市藪田南2-1-1

TEL (058) 272-1111(代)